

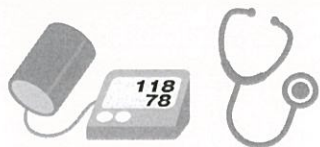


体にも気、
まわしたってや。

大阪府民の特定健診受診率 (2018年度)

50.6% (全国32位)

(協会けんぽ大阪支部は33.4% (全国支部中最下位))



出典「厚生労働省ホームページ」

大阪府民の健康寿命^{※2} (2016年度)

男性 **40位** (71.50歳) 女性 **36位** (74.46歳)



※2 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいいます。
出典「第5回健康日本21(第二次)推進専門委員会資料」

けんしん、行かなあかん! 「安心・安全・健康」な大阪に!

大阪府民の健康寿命



大阪府



SOMPO

損保ジャパン



© JAPAN-BA

大阪府と損保ジャパンは包括連携協定を締結し、

大阪府民の「安心・安全・健康」を応援します!

SJ21-17038 (2022年3月23日作成)

2022年度版

大阪府中小企業団体中央会 経営者・従業員総合補償制度

ライフスタイルに合わせて選べる保険

まい・とりーむ

従業員や家族も一緒にご加入できます!

団体割引
20%

過去の損害率による割増20%
(所得補償保険ロングタイプを除きます。)



あなたのライフスタイルに合わせた
保険を一冊にまとめました。

病気の保険

所得補償保険
(ロングタイプ)

がん保険

傷害総合保険
(24時間補償プラン)

所得補償保険
(1年タイプ)

傷害総合保険
(仕事中補償プラン)

このパンフレットは、概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。
※「まい・とりーむ」は、大阪府中小企業団体中央会の「経営者・従業員総合補償制度」のペット・ネームです。

制度運営事務局

大阪府中小企業団体中央会 総務部

引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社
大阪金融公務部 第一課

大阪市西区江戸堀1-11-4 損保ジャパン肥後橋ビル
TEL 06-6449-1050 FAX 06-6449-1388
(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)

〒540-0029 大阪市中央区本町2番5号 マイドームおおさか6階
TEL: 06-6947-4370~4371 FAX: 06-6947-4374
HP: <https://www.maido.or.jp>

取扱代理店

もしもの時のために、入っておけば安心です。

団体保険ってどんな保険なの？

団体に加入のため、保険料が割安

団体割引
20%

病気の保険

所得補償保険
(ロングタイプ)

がん保険

傷害総合保険
(24時間補償プラン)

所得補償保険
(1年タイプ)

傷害総合保険
(仕事中補償プラン)

※過去の損害率による割増20%も適用されます。(所得補償保険ロングタイプを除きます。)

病気からレジャーまで
幅広く補償

年齢やライフスタイルに必要な補償・保険は変わります。
ご自分にあった保険を選べます。

従業員や家族も
一緒にご加入できます！

加入者が法人の場合は、役職員(パートタイマー・アルバイト・臨時雇用を含みます。)および役職員と同居の家族まで
ご加入できます。
また、加入者が個人の場合はご本人および同居の家族まで
ご加入できます。



加入手続きについて

加入対象者

大阪府中小企業団体中央会の会員企業もしくは、役職員(パートタイマー・アルバイト・臨時雇用を含みます)。

被保険者



法人契約

加入者が法人の場合は、役職員(パートタイマー・アルバイト・臨時雇用を含みます。)およびその家族*までご加入できます。



個人契約

加入者が個人の場合は、ご本人およびその家族*までご加入できます。

*家族とは、配偶者、子供、両親、兄弟および同居している親族ならびに同居している使用人をいいます。

ご注意

本制度にご加入いただける経営者さまおよび従業員さま

① 組合確認

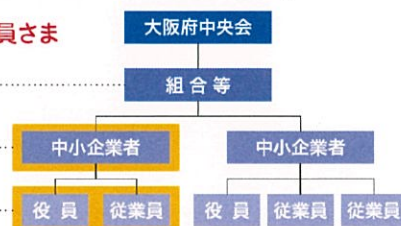
中央会加入組合かどうか確認してください。

② 企業確認

中央会所属組合加入企業かどうか確認してください。

③ 勤務確認

中央会所属組合加入企業に勤務しているかを確認してください。



保険料

● 保険料の口座引落し

加入依頼書と口座振替依頼書が引受保険会社(損害保険ジャパン株式会社)に6月14日までに到着した分については、9月26日(土日祝日の場合は金融機関の翌営業日)が初回保険料の口座引落日となります。
中途加入の方については、保険始期月(補償開始月)の翌々月26日(土日祝日の場合は金融機関の翌営業日)から引落しが始まります。

● 口座引落しができなかった場合

口座引落しができなかった場合は、その翌月に2回分をおわせて引落とします。2か月連続で引落しができなかった場合は、最初に引落しができなかった月の前々月の1日にさかのぼって補償がストップします。これを「失効」といいます。いったん失効すると、ご契約の復活はできません。再度加入申し込み手続きをしていただくことになります。

● 制度運営費

保険料とは別に、加入依頼書1枚につき50円の制度運営費をご負担いただきます。制度運営費は本制度運営上の通信・連絡費などに充てられます。

● 保険料控除

● 法人等が保険料を負担して役職員の方が全員加入される場合、その保険料は全額損金・必要経費処理できます。
● 傷害総合保険は介護医療保険料控除の対象外です。(2022年2月現在)
※税法上の取扱いについては、税制改正により変更される場合があります。詳しくは税理士等にご相談ください。

● ご契約の継続

● 加入条件を満たさなくなった場合は、ご継続できません。
【加入条件を満たさない例】
勤務先を退職したとき、勤務先の会社が倒産したとき、勤務先の企業が組合を脱退したとき、所属組合が大阪府中央会を脱会したとき など

ご注意

団体割引と定足数

団体割引、過去の損害率による割増引は、本団体契約の前年のご加入人数や保険金のお支払状況により決定しています。次年度以降、割増引率が変わることがありますので、あらかじめご了承ください。
また、団体のご加入人数が10名を下回った場合は、この団体契約は成立しませんので、ご了承ください。

1 病気の保険 (新・団体医療保険)

[医療保険基本特約・疾病保険特約セット団体総合保険]

●保険金のお支払方法等重要な事項は、18ページ以降に記載されていますので、必ずご参照ください。

病気*による日帰り入院※1・手術を補償! (*がんを含みます。)

○ 保険の特長

■ 疾病による入院、手術を補償します。

- ▶ 入院保険金は1日目(日帰り入院※1を含みます。)からお支払いします。
- ▶ 入院保険金は1回の入院で120日までお支払いします。(ご継続の保険期間を通じて1,000日限度)
- ▶ 手術保険金は何回でもお支払いします。※2
- ※1「日帰り入院」とは、日帰り手術のため1日だけ入院と同一ような形で病室を使用した場合等のことをいい、「入院料」の支払いの有無で判断します。
- ※2 手術を受けたときにお支払いします。(一部の軽微な手術は対象外)手術の種類によってはお支払いできる回数に制限があります。

○ こんな時にお役に立ちます

詳しいプランは次ページへ!

基本補償

■ 病気による入院や手術

日本国内・国外を問わず、保険期間中に疾病を被った場合対象になります。



がんによる入院



外来手術

■ 三大疾病診断保険金

がんや診断確定された場合や急性心筋こうそく、脳卒中で入院した場合に診断保険金をお支払いします。



オプション補償

■ 先進医療費用

オプションで最高保険金額300万円もしくは100万円をセットできます。



先進医療の技術料を特約でカバー

■ 疾病葬祭費用

疾病で亡くなれば、親族が葬祭費用を負担されたときに保険金をお支払いします。

■ 介護一時金

疾病や傷害により所定の要介護状態に該当され、その状態が所定の期間を超えて継続したときに保険金をお支払いします。

● 告知書の内容によりご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。

＜告知の大切さについてのご説明＞

○ 告知書はお客さま(保険の対象となる方)ご自身がありのままをご記入ください。

※口頭でお話し、または資料提示されただけでは告知していただいたことにはなりません。

○ 告知の内容が正しくないと、ご契約の全部または一部が解除になり、保険金がお受け取りいただけない場合があります。

※「ご加入に際して、特にご注意くださいこと(注意喚起情報のご説明)」を必ずお読みください。

新規・補償の増額をされる方は、告知書が必要です ▶ P18参照

保険料と保険金額(保険期間:1年間、団体割引20%、過去の損害率による割増20%)

保険料払込方法:12分割月払 手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約セット

ご加入コース		MA	M1	M2	M3	M4
疾病入院保険金		1日あたり 5,000円			1日あたり 3,000円	
疾病手術保険金		外来の手術:入院保険金日額の5倍 入院中の手術:入院保険金日額の20倍 重大手術の場合:入院保険金日額の40倍				
三大疾病診断保険金		100万円			50万円	
疾病入院一時金		10万円			5万円	
介護一時金		－	100万円	－	50万円	－
先進医療等費用		300万円	100万円	－	100万円	－
疾病葬祭費用		－	100万円	－	50万円	－
月払保険料	満0～24歳	510円	530円	470円	340円	290円
	満25～29歳	770円	800円	730円	500円	440円
	満30～34歳	1,030円	1,080円	990円	650円	580円
	満35～39歳	1,250円	1,330円	1,210円	770円	690円
	満40～44歳	1,580円	1,740円	1,540円	980円	860円
	満45～49歳	2,200円	2,520円	2,160円	1,400円	1,200円
	満50～54歳	3,060円	3,590円	3,020円	1,980円	1,670円
	満55～59歳	4,560円	5,460円	4,520円	2,980円	2,490円
	満60～64歳	6,440円	7,930円	6,400円	4,300円	3,510円
	満65～69歳	9,160円	11,670円	9,120円	6,310円	5,020円

● 保険料は、保険始期日(中途加入日)時点での満年齢によります。

● 年齢は、保険期間の初日現在(中途加入の場合は、中途加入日時点)の満年齢とします。

● ご契約は1年ごと更新となりますので、更新加入の保険料は、更新時の保険始期日時点での満年齢による保険料となります。

● 新規加入は満69歳まで、更新加入は満79歳までご契約いただけます。

● 新・団体医療保険は介護医療保険料控除の対象となります。なお、疾病葬祭費用補償特約保険料は対象となりません。(2022年2月現在)

○ 先進医療等費用補償特約とは?

- 病気またはケガにより、日本国内で先進医療等(先進医療や臓器移植術)を受けた場合に負担した費用等を補償します。
- 入院せず、外来で先進医療等を受けた場合にも、お支払いの対象となります。
- 「先進医療」とは、病院等において行われる医療行為のうち、一定の施設基準を満たした病院等が厚生労働省への届出により行う高度な医療技術を行います。
- 対象となる先進医療の種類については、保険期間中に変更となることがあります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。(https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan.html)

○ 一般治療とのちがいは?

健康保険の適用対象外のため、先進医療に係る費用は全額自己負担となります。

ただし、通常の治療と共通する部分(診療・検査・投薬・入院料等)については健康保険適用となります。

先進医療にかかる技術料は、先進医療の種類や病院によって異なります。

2 がん保険 (がんに特化して補償を手厚くするプランです。)

[医療保険基本特約・がん保険特約セット団体総合保険]

●保険金のお支払方法等重要な事項は、18ページ以降に記載されていますので、必ずご参照ください。

**がん診断確定時から外来治療まで！
病気の保険にご加入の場合は、病気の保険とは
別途にお支払いします！**

● 保険の特長

- **がんと診断確定されたときには**
がんと診断確定されたときには何度でも診断保険金をお支払いします。(ただし2年に1回を限度とします。)
- **手術を受けたときには**
外来の手術については、がん入院保険金日額の5倍、入院中の手術については20倍、重大な手術については外来か入院中にかかわらず40倍をお支払いします。
- **入院時は1日目から無制限補償(そのがんの治療目的のものにかぎりませう。)**
1日目から日数無制限ですので、安心して治療に専念できます。
- **入院を伴わない通院や往診だけのがん治療も補償!! (がん外来治療保険金)**
「がん」の治療を直接の目的として外来治療を受けたとき、1日目から120日を限度にがん外来治療保険金日額をお支払いします。(1日につき)
- **白血病、がんの初期症状にみられる上皮内がん(初期段階のがん)も対象**
がんが上皮内にとどまっており、治療により転移することなく完治することが多い、上皮内がんも補償の対象とします。
※ご加入初年度のみ、保険期間の開始日(中途加入の場合は中途加入日)からその日を含めて90日は待機期間となり、その間に発病したがんは補償の対象外です。
※入院・外来治療は、がんの治療目的のものにかぎりられます。

● こんな時にお役に立ちます

- **がんによる入院や外来治療**



がんによる入院



がんと診断された時の
診断保険金



がんの先進医療費用



がんによる手術

- ご注意**
- 告知書の内容によりご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。
＜告知の大切さについてのご説明＞
○告知書はお客さま(保険の対象となる方)ご自身がありのままをご記入ください。
※口頭でお話し、または資料提示されただけでは告知していただいたことにはなりません。
○告知の内容が正しくないと、ご契約の全部または一部が解除になり、保険金がお受け取りいただけない場合があります。
※「ご加入に際して、特にご注意ください(注意喚起情報のご説明)」を必ずお読みください。

新規・補償の増額をされる方は、告知書が必要です ▶ P18参照

保険料と保険金額(保険期間:1年間、団体割引20%、過去の損害率による割増20%)

保険料払込方法:12分割月払 手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約セット

補償内容	加入タイプ(型)	SK0	SK1
	がん診断保険金 (がんと診断されたとき何年度でも。 ただし2年に1度限度)	100万円	200万円
	がん入院保険金	7,500円	15,000円
	がん手術保険金	〈重大手術の場合〉入院保険金日額の40倍 〈重大手術以外の場合〉入院中の手術:入院保険金日額の20倍・外来の手術:入院保険金日額の5倍	
	がん外来治療保険金 (120日限度)	5,000円	10,000円
満年齢区分ごとの月払保険料	先進医療保険金 (先進医療等費用補償特約)	300万円	300万円
	満0～24歳	190円	320円
	満25～29歳	210円	360円
	満30～34歳	350円	650円
	満35～39歳	490円	910円
	満40～44歳	710円	1,350円
	満45～49歳	1,270円	2,480円
	満50～54歳	2,050円	4,030円
	満55～59歳	2,900円	5,730円
	満60～64歳	4,080円	8,100円
	満65～69歳	5,950円	11,840円

(ご注意ください)

ご加入初年度の保険期間の開始日からその日を含めて90日を経過するより前に診断確定されたがんについては、保険金をお支払いできません。また一部の疾病群について保険金お支払いの対象外とする条件(「特定疾病等対象外特約」をセット)でのご加入の場合、その疾病群およびその疾病群の疾病を原因とするがんについては保険金をお支払いできません。

- 保険料は、保険始期日(中途加入日)時点での満年齢によります。
- 年齢は、保険期間の初日現在(中途加入の場合は、中途加入日時点)の満年齢とします。
- ご契約は1年ごとの更新となりますので、更新加入の保険料は、更新時の保険始期日時点での満年齢による保険料となります。
- 新規加入は満69歳まで、更新加入は満79歳までご契約いただけます。
- 新・団体医療保険は介護医療保険料控除の対象となります。(2022年2月現在)

がん保険に関するミニQ&A

Q1 もしもがんになったら、病気の保険とがん保険の両方から保険金が支払われるの？

はい。病気の保険とがん保険にご加入の場合は、病気の保険とがん保険の両方からお受け取りいただけます。がん保険にご加入の場合、病気の保険のお支払いとは別にがん保険のお支払いをします。

Q2 がんになり、保険金を受け取っても、契約は継続できるの？

はい。保険金をお支払いした後も契約をご継続できます。ただし、疾病入院保険金は、初年度加入および継続加入の保険期間を通算して1,000日が限度となりますので、1,000日分の保険金をお支払いした場合、満期時にご継続をお断りすることがあります。

3 4 所得補償に関する保険 (1年タイプ) (ロングタイプ)

新規・補償の増額をされる方は、告知書が必要です ▶ P18参照

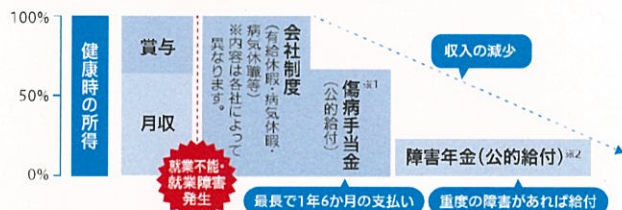
もしメンタルヘルスの不調を含む病気やケガで長い間働けなくなったらどうしよう？

○ 収入減は会社や公的な給付でどれだけカバーできる？

■ 就業不能・長期就業障害の時、会社や公的な給付だけで生活を維持するのは困難です。

一定期間は会社制度からの傷病手当・給与等により収入が確保できますが、休業が長期にわたればいずれ収入が途絶えることに。公的給付も、傷病手当金が最長で1年6か月支給されるほか、傷病の程度により障害年金が給付されますが、収入は大幅に減少します。

■ 万一長期の就業障害になったとき、収入の減少は止まりません



○ 生命保険に加入していれば大丈夫？

■ 現状 一般的な生命保険では就業不能・長期就業障害による収入減は保障されていません。

生命保険は死亡時の遺族のための保障です。また、入院特約・医療保険等は入院や治療のための支出増の費用を保障するもので、働けない時の収入の減少を保障するものではありません。

	収入減(生活費)のため				支出増(医療費)のために					
	死亡		就業不能・長期就業障害		入院		手術		通院	
	病気	ケガ	病気	ケガ	病気	ケガ	病気	ケガ	病気	ケガ
各種保険	●	●								
生命保険	●	●								
傷害保険			●	●			●	●		●
医療保険・入院特約	▲	▲			●	●	●	●	▲	▲

この部分のリスクに対しては、個人で加入できる保険ではカバーできないのが現状です。

○ 住宅ローンはどうなるの？

■ 住宅ローン利用時にご加入の「団体信用生命保険」では保障されないリスクがあります！

死亡・後遺障害の場合	保障対象	「団体信用生命保険」の保障の対象となり、住宅ローンの残高はなくなります
病気やケガで長期間、働けない場合	補償対象外	「団体信用生命保険」の保障の対象外となり、住宅ローンの残高は残ります

○ 障害が残ったら家族はどうなるの？

■ 看護で家族の仕事が制限されることも

病気やケガにより障害が残ってしまった場合には、家族による看護が必要になることがあります。その場合には家族の仕事等が制限されることもあります。

もしも今、病気やケガで働けなくなったら…
「生きること」がリスクに変わります！！

何故なら

収入がストップしても出費は変わりません！

生活費、家賃・住宅ローン、教育費など不安だらけ。さらに医療費まで加わります。

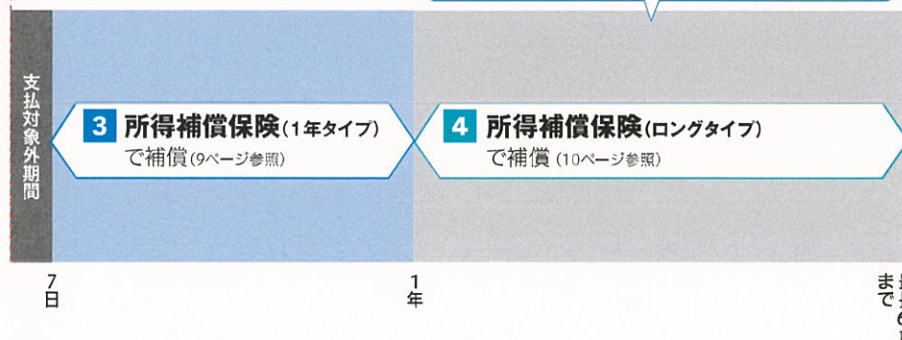
所得補償保険のしくみと給付イメージ

例：1年タイプとロングタイプに加入の場合



病気
ケガ

お仕事に復帰しても、障害が残り、所得が20%を超えて喪失している場合は補償の対象となります。



● 就業不能が1か月以上続く場合には、1か月ごとに保険金をお支払いすることができます。
● 就業不能期間(支払対象外期間を除きます。)が1か月に満たない場合、または1か月未満の端日数が生じた場合には、1か月を30日として保険金月額を日割計算します。

3 所得補償保険(1年タイプ)

●保険金のお支払方法等重要な事項は、18ページ以降に記載されていますので、必ずご参照ください。

○ 保険の特長

- 万一の病気やケガに安心補償
(支払対象外期間を超えた8日目から最長1年間)
(国内外を問わず、病気やケガで働けなくなり、継続して就業不能である期間が7日を超えた場合に補償します。)
- 入院だけでなく、医師の指示による自宅療養の場合も補償
入院でも医師の指示による自宅療養でも、就業不能期間の所得を補償します。
- 精神障害による就業不能も補償します。(精神障害拡張補償特約)
【お支払いの対象となる主な精神障害】気分障害(躁病、うつ病等)、統合失調症、神経衰弱、血管性認知症、知的障害等一部の精神障害を被り、これを原因として生じた就業不能 など
【お支払いの対象とならない主な精神障害】アルコール依存、薬物依存 など

○ こんな時にお役に立ちます

- 病気やケガによる入院、医師の指示による自宅療養
日本国内・国外を問わず病気やケガで就業不能となった場合、所得を補償します。



保険料と保険金額(保険期間:1年間、対象期間:1年間、支払対象外期間:7日間、団体割引20%、過去の損害率による割増20%)

保険料払込方法:12分割月払 精神障害拡張補償特約および通算支払限度期間に関する特約セット

		1口(月額補償5万円)あたりの月々の保険料										
年齢区分 (加入コース)	満年齢	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳
1級(S1)		265円	385円	435円	540円	670円	835円	1,000円	1,160円	1,225円	1,290円	1,550円
2級(S2)		305円	440円	500円	620円	770円	965円	1,150円	1,335円	1,405円	1,480円	1,775円
3級(S3)		360円	515円	590円	725円	905円	1,130円	1,350円	1,565円	1,650円	1,740円	2,090円

- 保険料は、保険始期日(中途加入日)時点の満年齢によります。●年齢は、保険期間の初日現在(中途加入の場合は中途加入日時点)の満年齢とします。
- ご契約更新時は、更新後の保険始期日時点での満年齢による保険金額(または保険料)となります。
- 年齢区分が変更になると、保険金額(または保険料)が変更になります。
- 所得補償保険は介護医療保険控除の対象となります。(2022年2月現在)
- 保険金額はご加入直前12か月の平均月間所得額の範囲内で、健康保険などの公的医療保険制度からの給付額も考慮のうえお決めください。
- ご加入限度口数は、お一人さま最高6口までとなります。

所得補償保険職種別
1級:小売・卸売店主(危険物を取り扱っていない方)、医師、事務職、営業職、管理職 など
2級:デザイナー、調理師、美容師、電気工、技師(危険物を取り扱っていない方) など
3級:自動車運転者、自動車整備士、大工、機械工、配管工、溶接工、技師(危険物を取り扱っている方)など(詳しくは取扱代理店までお問い合わせください。)

- 注意 ●告知書の内容によりご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。
- <告知の大切さについてのご説明>
○告知書はお客さま(保険の対象となる方)ご自身がご記入ください。
※口頭でお話し、または資料提示されただけでは告知していただいたことにはなりません。
○告知の内容が正しくないと、ご契約の全部または一部が解除になり、保険金がお受け取りいただけません場合があります。
※「ご加入に際して、特にご注意ください(注意喚起情報のご説明)」を必ずお読みください。

4 所得補償保険(ロングタイプ)

(団体長期障害所得補償保険)

●保険金のお支払方法等重要な事項は、18ページ以降に記載されていますので、必ずご参照ください。

○ 保険の特長

- 支払対象外期間1年を超えてから最長60歳まで(精神障害は2年間)のロングに補償!
国内外を問わず、病気やケガにより働けなくなった場合(病気、ケガにより入院、医師の指示による自宅療養等)に支払対象外期間1年を超えてから最長60歳まで(精神障害は最長2年間)月々の収入を補償します。
満55歳以上の方は一律3年間となります。
- 復職後もしっかりサポート!
仕事に復帰した後も十分に働けないために20%を超える所得の減少がある場合には、その割合に応じて保険金をお支払いします。
- 病気やケガのまま退職した後も安心!
後遺障害により万が一退職された場合には、退職後も継続して補償します。
- 精神障害による就業障害も補償します。(精神障害補償特約)
【お支払いの対象となる主な精神障害】気分障害(躁病、うつ病等)、統合失調症、神経衰弱等一部の精神障害を被り、これを原因として生じた就業障害 など
【お支払いの対象とならない主な精神障害】血管性認知症、知的障害、アルコール依存、薬物依存 など
(注)血管性認知症など、所得補償保険の補償対象であっても、団体長期障害所得補償保険の補償対象とならないものもありますのでご注意ください。

○ こんな時にお役に立ちます

- 病気やケガによる入院、医師の指示による自宅療養
日本国内・国外を問わず病気やケガで就業不能となった場合、所得を補償します。



保険料と保険金額(保険期間:1年間、対象期間:60歳まで、支払対象外期間:365日、団体割引20%)

保険料払込方法:12分割月払 精神障害補償特約セット

		1口(月額補償5万円)あたりの月々の保険料								
満年齢 性別		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
男性(G1)		378円	378円	390円	421円	508円	728円	976円	1,140円	1,134円
女性(G1)		253円	253円	327円	430円	622円	953円	1,262円	1,358円	1,197円

- 保険料は、保険始期日(中途加入日)時点の満年齢によります。
- 年齢は、保険期間の初日現在(中途加入の場合は中途加入日時点)の満年齢とします。
- ご契約更新時は更新後の保険始期日時点での満年齢による保険料となります。年齢区分が変更になると保険料が変更になります。
- 新規加入、更新加入ともに満59歳までご契約いただけます。
- 保険金額はご加入直前12か月の平均月間所得額の範囲内で、健康保険などの公的医療保険制度からの給付額も考慮のうえお決めください。
- ご加入限度口数は、お一人さま最高6口までとなります。
- 年齢区分55~59歳の対象期間は、一律3年間となります。
- 団体長期障害所得補償保険は、介護医療保険控除の対象となります。(2022年2月現在)

5 6 傷害総合保険 (24時間補償プラン) (仕事中補償プラン)

日常生活のケガと日常生活での法律上の損害賠償責任を補償! (国内外 24時間)

○ 保険の特長

- 国内・国外・業務上、業務外を問わず、急激かつ偶然な外来の事故によるケガを24時間補償します。
※仕事中のみのプランも選択できます。
- 入院、通院1日目から保険金をお支払いします。
- オプションで日常生活において法律上の賠償を補償する「個人賠償責任補償」をセットすることができます。
- オプションで法的トラブルに巻き込まれた場合の弁護士費用を補償する「弁護のちから」をセットすることができます。

企業の福利厚生の内容や個人のニーズに応じて、2つのプランからお選びいただけます。

■ 仕事中補償プラン

通勤途中を含む仕事中の事故によるおケガを補償します。

■ 24時間補償プラン

仕事中・プライベートを問わず、24時間補償します。

○ こんな時にお役に立ちます

基本補償

■ 傷害事故

日本国内・国外を問わず、交通事故はもちろん
急激かつ偶然な外来の事故によるケガが対象となります。



料理中にやけど



スポーツ中にケガ

■ 天災危険補償特約タイプ

※天災危険補償特約とは…
天災事故(地震・噴火またはこれらによる津波)が原因で生じた
傷害事故に対して、保険金をお
支払いする特約です。(賠償事
故は対象外です。)



地震が原因でケガ

オプション補償(ご希望のオプションを自由にセットできます。)

■ 個人賠償責任補償

日本国内・国外を問わず、本人およびそのご家族の方が、
日常生活において法律上の損害賠償責任を負ったときに対象となります。
ただし、自動車事故は対象となりません。



飼犬が他人に
噛みついてケガをさせた



自転車では他人に
ケガをさせた

■ 弁護士費用総合補償

法的トラブルにあったときの弁護士費用をサポート

弁護のちから

詳しくは13～17ページ



**個人賠償責任補償は、
大阪府自転車条例に対応した商品です。**

大阪府では、大阪府自転車条例の施行により、
2017年7月1日より自転車保険への加入が義務となりました。



大阪府自転車条例
もずかん

●保険金のお支払方法等重要な事項は、18ページ以降に記載されていますので、必ずご参照ください。

保険料と保険金額(保険期間:1年間、団体割引20%、過去の損害率による割増20%)

保険料払込方法:12分割月払 手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約セット(傷害総合保険金プラン共通)

		仕事中(通勤含む)補償プラン 就業中のみの危険補償特約セット				24時間補償プラン			
ご加入コース		11	12	13	14	AA	AB	AC	AD
月払保険料		2,800円	2,300円	1,800円	1,300円	2,800円	2,300円	1,800円	1,300円
職種級別 A級	死亡・後遺障害保険金額(千円)	46,922	35,468	27,831	18,559	2,689	4,787	3,780	4,619
	入院保険金日額(円)	14,000	13,000	10,000	8,000	10,000	7,000	5,500	3,000
	手術保険金	外来の手術:入院保険金日額の5倍 入院中の手術:入院保険金日額の20倍 重大手術の場合:入院保険金日額の40倍							
	通院保険金日額(円)	7,000	6,500	5,000	4,000	5,000	3,500	2,700	1,500
ご加入コース		21	22	23	24	BA	BB	BC	BD
月払保険料		3,100円	2,600円	2,100円	1,600円	3,200円	2,600円	2,100円	1,600円
職種級別 B級	死亡・後遺障害保険金額(千円)	6,734	5,816	4,796	7,243	1,950	1,950	3,342	2,674
	入院保険金日額(円)	12,000	10,000	8,000	5,000	7,000	6,000	4,000	3,000
	手術保険金	外来の手術:入院保険金日額の5倍 入院中の手術:入院保険金日額の20倍 重大手術の場合:入院保険金日額の40倍							
	通院保険金日額(円)	6,000	5,000	4,000	2,000	4,000	3,000	2,000	1,500

天災危険補償タイプ

天災危険補償特約セット

		仕事中(通勤含む)補償プラン 就業中のみの危険補償特約セット	24時間補償プラン
ご加入コース		T12	TAB TAD
月払保険料		1,200円	2,600円 1,400円
職種級別 A級	死亡・後遺障害保険金額(千円)	6,633	261 859
	入院保険金日額(円)	10,000	10,000 5,000
	手術保険金	外来の手術:入院保険金日額の5倍 入院中の手術:入院保険金日額の20倍 重大手術の場合:入院保険金日額の40倍	
	通院保険金日額(円)	5,000	5,000 2,500
ご加入コース		T22	TBB TBD
月払保険料		1,500円	2,800円 1,600円
職種級別 B級	死亡・後遺障害保険金額(千円)	1,955	591 385
	入院保険金日額(円)	6,000	7,000 4,000
	手術保険金	外来の手術:入院保険金日額の5倍 入院中の手術:入院保険金日額の20倍 重大手術の場合:入院保険金日額の40倍	
	通院保険金日額(円)	3,000	3,500 2,000
特定感染症療養費用		—	—

特定感染症特約プラン

特定感染症補償特約セット

特定感染症特約プラン	
KA	KAD
3,000円	1,300円
1,942	3,842
10,000	3,000
5,000 1,500	
300万円	
KBB	KBC
2,600円	2,100円
1,019	2,727
6,000	4,000
3,000 2,000	
300万円	

■ オプション補償

個人賠償責任補償

ご加入コース	P1
月払保険料	170円
保険金額	1億円



弁護のちから (弁護士費用総合補償)

ご加入コース	L1
月払保険料	650円
法律相談費用(自己負担額1,000円)	通算5万円限度
弁護士委任費用(自己負担割合10%)	通算100万円限度

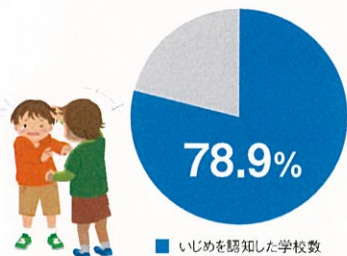
傷害総合保険職種級別

A級:小売・卸売店主、医師、事務職、営業職、管理職、自動車整備士、ガソリンスタンド販売員 など
B級:農林業作業員、自動車運転者、建設作業員 など (詳しくは取扱代理店までお問い合わせください。)

あなたの日常にも潜んでいます！ 現代社会を取り巻くさまざまなトラブル

こどものいじめ

いじめの認知(発生)件数の推移



全学校数のうち約8割
がいじめを認知してい
ます！また、1校当た
りの認知件数は14.1
件に上ります！

こどもがいじめにあい、
登校拒否の状態になった



出典：令和2年文部科学省初等中等教育局児童生徒課
「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

もし私たちのちからになってくれるものがあったら...

ストーカー被害

(件数) ストーカー事案の相談等



ストーカー事案は
6年連続2万件を
超えています。

昔の交際相手から
ストーカー行為をされている



出典：警察庁生活安全局生活安全企画課・刑事局捜査第一課
「令和2年におけるストーカー事案及び配偶者からの暴力事案等への対応状況について」

他にも...

SNSによる誹謗中傷

インターネット通販詐欺

通り魔被害

痴漢被害

など

さまざまなトラブルが潜む中... 法的トラブルについてはこのような声があります

Q.1

あなたや、あなたの身の回りの家族や友人などで法的トラブルが起こったことはありますか？

実は、私たちの身の回りでは、さまざまなトラブルが起きています。

「ある」と答えた方 約6.5人に1人

出典：平成21年 内閣府大臣官房政府広報室「総合法律支援に関する世論調査」
(注)「ある」と答えた人が挙げた法的トラブルには、「弁護のちから」では補償対象とならないトラブル
(多重債務、医療事故など)も含まれています。



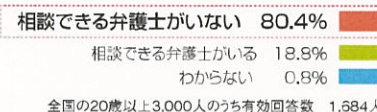
万が一、法的トラブルに巻き込まれた場合、無理して抱えこむことなく、

専門家である「弁護士」に相談できたら安心です。でも...

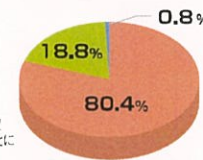
Q.2

法的トラブルにあったときに相談できる弁護士がいますか？

「身近に相談できる弁護士がいない」という方が多いのが現状です。



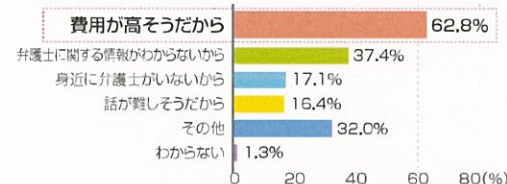
出典：平成21年 内閣府大臣官房政府広報室
「総合法律支援に関する世論調査」をもとに
損保ジャパンにて作成



Q.3

弁護士への相談を迷う、または、相談しない理由は何ですか？

「相談したいけれど費用が高そう」と感じている人が約6割もいます。



出典：平成21年 内閣府大臣官房政府広報室
「総合法律支援に関する世論調査」

弁護士への相談を迷う、または、相談しないと回答した
1,019人を対象(複数回答)

みなさまの声にお応えして、

弁護のちからはあなたのちからになります！





“弁護のちから”が支える5つのトラブル

- 次の法的トラブルにあったときの弁護士費用をサポートします。

トラブルの当事者



次の1～3の法的トラブルについては、被保険者ご本人だけでなく、お子さま^(※1)が遭遇されたトラブルについても対象となります。

1. 人格権侵害^(※2)

初年度契約は、保険開始91日目から補償対象となります。

- こどもがいじめにあい、登校拒否の状態になった。
- 昔の交際相手からストーカー行為をされている。
- ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)上でいじめられない誹謗中傷にあい、精神的苦痛を受けた。
- 電車で痴漢被害を受けた。



2. 被害事故

- 路上歩行中に他人が運転する自動車に衝突され、ケガをした。
- インターネット通販の会社から、本物といつわられて、偽物のブランド品を売りつけられた。



3. 借地・借家

- 賃貸期間中に賃貸マンションの家主から正当な理由もなく立ち退きを迫られた。
- アパートの雨漏りにより家具にカビが生えてしまったが、家主が修理してくれない。
- 借りている土地に建てた家の増築を、地主が正当な理由もなく承諾してくれない。



トラブルの当事者



次の4～5の法的トラブルについては、**被保険者ご本人に関わる調停等に要する**弁護士への各種費用が対象となります。

4. 遺産分割調停

- 兄弟間の遺産分割の協議がまとまらず、調停での手続きとなった。
- 母がすべての遺産を兄に相続させるとした遺言を残して亡くなり、自分が相続できる権利が侵害されたため、調停で手続きすることとなった。



5. 離婚調停^(※2)

初年度契約は、保険開始91日目から補償対象となります。

- 夫婦間の協議がまとまらず、調停で離婚手続きを進めるしかなくなった。
- こどもの将来のための養育費の額について夫婦間の折り合いがつかないため、調停で離婚手続きすることとなった。



遺産分割調停、離婚調停については、トラブルが調停等の手続きに至った場合に、**被保険者ご本人に係る調停等に要する費用のみ対象**となります。

✕ 以下のようなトラブルは保険金のお支払いの対象になりません。

- 自動車または原動機付自転車による被害事故に関するトラブル
- 医療ミスによる被害事故に関するトラブル
- 騒音、振動、悪臭、日照不足による被害事故または人格権侵害に関するトラブル
- 借金の利息の過払金請求に関するトラブル
- 顧客や取引先等から被った職務遂行上の精神的苦痛に関するトラブル

など

(※1) 被保険者が親権を有する、未成年かつ未婚の子が対象となります。

(※2) 人格権侵害に関するトラブルまたは離婚調停に関するトラブルの場合で、トラブルの原因事故が初年度契約の保険期間の開始日からその日を含めて90日を経過する日までの間に発生したときは、保険金をお支払いできません。

(※3) 人格権侵害に関するトラブルの場合は、警察等の公的機関または学校等の相談窓口等への届出等を行い、その事実を客観的に証明できるトラブルにかぎりです。

2つの保険金で気になる費用をしっかりとサポートします。

国内補償^(※)

① 法律相談費用保険金

弁護士へ法律相談を行うときに負担した法律相談費用を補償します。

■ 保険金額
(保険期間1年間に付き)
通算 **5万円 限度**

■ お支払いする保険金の額

1つのトラブルに関する法律相談にかかった費用 - 自己負担額 (免責金額) **1,000円**

② 弁護士委任費用保険金

弁護士へのトラブル解決の委任を行うときに負担した弁護士委任費用を補償します。

■ 保険金額
(保険期間1年間に付き)
通算 **100万円 限度**

■ お支払いする保険金の額

1つのトラブルに関する弁護士委任にかかった費用 × (100% - 自己負担割合10%)

(※) 日本国内の法令に基づき解決するトラブルが対象となります。

⚠ いずれの保険金も、**弁護士への法律相談および委任契約の締結前に、損保ジャパンの事前の同意が必要となります。**

お支払事例①(人格権侵害に関するトラブル)

昔の交際相手にストーカー被害を受けている。自分だけで対応するのはこわいので、弁護士に間に入ってもらい交渉を行った。2回の話し合いの末、本当に嫌がっていることを相手に理解し、今後は付きまわないと約束してくれたため、合意書面を作成した。

法律相談にかかった費用 **1万円**

法律相談費用保険金のお支払額

1万円 - 1,000円(自己負担額) = **9,000円**

弁護士委任にかかった費用 **40万円**
着手金 15万円、報酬金 25万円

弁護士委任費用保険金のお支払額

40万円 × (100% - 10%(自己負担割合)) = **36万円**

合計 **36万9,000円**をお支払い

お支払事例②(被害事故に関するトラブル)

歩道で自転車に衝突され、左腿を負傷し、障害を負った。加害者に賠償請求しているが応じてくれないため弁護士に相談した。その後、弁護士に委任のうえ訴訟を提起し、最終的に満足のいく賠償金を受け取ることができた。

法律相談にかかった費用 **1万円**

法律相談費用保険金のお支払額

1万円 - 1,000円(自己負担額) = **9,000円**

弁護士委任にかかった費用 **50万円**
着手金 15万円、報酬金 35万円

弁護士委任費用保険金のお支払額

50万円 × (100% - 10%(自己負担割合)) = **45万円**

合計 **45万9,000円**をお支払い



金銭的な負担を軽減し、安心して法的トラブルを解決することができます。

相談できる弁護士が身近になくても安心!
「弁護士紹介サービス」

保険金のお支払いの対象となる場合で弁護士の紹介をご希望のときは、担当の損保ジャパン保険金サービス課へご連絡ください。お客さまから依頼を受けた損保ジャパンが、日本弁護士連合会を通じて各地の弁護士会に弁護士紹介を依頼し、お客さまに弁護士をご紹介します。

「被害事故・嫌がらせ相談窓口」

被害事故または人格権侵害への対応が必要の際には、お電話でご相談いただくことができるサービスです。警察OB等トラブル対応の専門コンサルタントが、対応等についてアドバイスさせていただきます。「弁護のちから」の保険金請求対象の確認や弁護士委任のご相談は対象外となりますので、事故サポートセンターへのご連絡をお願いします。

(注1) 本サービスは損保ジャパンの提携業者がご提供します。(注2) ご相談の際には、お名前、ご加入者番号等をお聞きすることがございますのでご了承ください。

(注3) ご利用は日本国内からにかぎりです。(注4) 本サービスは予告なく変更または中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(注5) 「弁護のちから」の保険金をお支払いする事由が発生した場合は、下記事故サポートセンターまたは取扱代理店までご連絡ください。事故サポートセンター: [受付時間] 24時間365日 0120-727-110

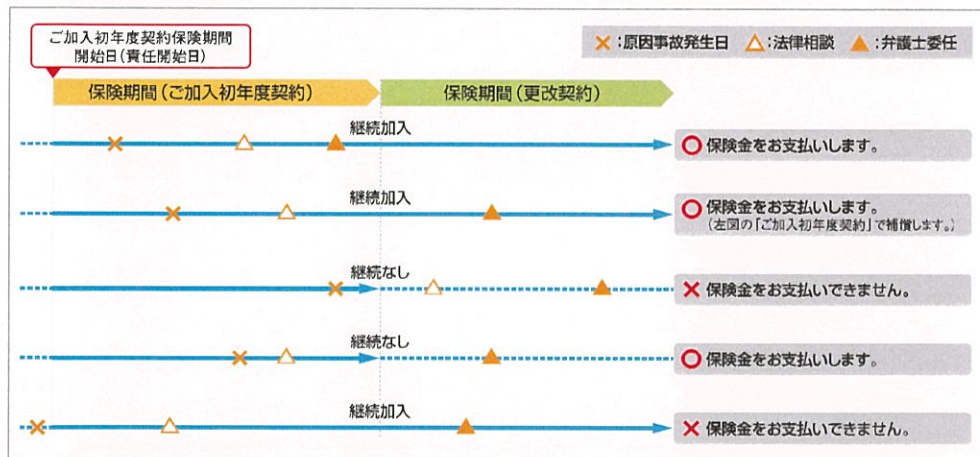
(注1) 保険金のお支払方法等重要な事項は、P.30以降に記載されていますので、必ずご確認ください。(注2) 弁護士費用補償における補償の重複については、P.31をご覧ください。

弁護士費用補償に関する保険責任について

- 保険責任は保険期間開始日の午後4時に始まりませんが、ご加入初年度の保険期間の開始時(中途加入の場合は中途加入時)より前に、原因事故が発生していた場合または保険金請求権者が原因事故の発生するおそれが生じたことを知っていた場合等は、保険金をお支払いできません。
- 保険金請求権者が保険期間中に最初の法律相談または弁護士委任を行った場合に、保険金をお支払いします。
- 同一のトラブルに起因して行われた一連の法律相談または弁護士委任は、法律相談もしくは弁護士委任の回数または当事者の人数等にかかわらず、それぞれ1つの法律相談または弁護士委任とみなし、保険金が支払われる最初の法律相談または弁護士委任が行われた時に一連の法律相談または弁護士委任が行われたものとして、保険金の限度額を適用します。

「保険責任の開始」と

「原因事故発生日および法律相談・弁護士委任と保険期間との関係」(イメージ図)



「離婚調停に関するトラブル」および

「人格権侵害に関するトラブル」の場合の保険責任の開始(イメージ図)



(注)「離婚調停に関するトラブル」および「人格権侵害に関するトラブル」については、ご加入初年度の保険期間の開始日(中途加入の場合は中途加入日)からその日を含めて90日を経過する日の翌日から保険責任が始まります(責任開始日)。したがって、責任開始日より前に原因事故が発生していたこれらのトラブルについては、保険金をお支払いできません。

1 病気の保険 2 がん保険 3 4 所得補償保険にご加入される皆さまへ

告知に関するご注意事項

◎告知書の内容によりご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。

1. I 欄の病気について

告知日現在から過去2年以内に医師の治療(薬の服用の指示、指導を含みます。)を受けたり、医師から病気の指摘(経過観察中を含みます。)を受けた方

ご加入いただけません。

2. II 欄の病気について

告知日現在から過去2年以内に医師の治療(薬の服用の指示、指導を含みます。)を受けたり、医師から病気の指摘(経過観察中を含みます。)を受けた方

ご加入いただけますが、その病気の群全体を補償対象外としてご加入いただけます。

例えば、A群を補償対象外としてご加入いただく場合、下表記載の病気に問わず、胃・腸の病気はすべて補償対象外となります。

■疾病・症状一覧表 ※I欄に該当がある方はご加入いただけません。

疾病群	I 欄	II 欄
A 群	胃・腸の病 炎症性腸疾患(かいよう性大腸炎・クローン病) 胃・腸の十二指腸のかいよう 腹膜炎 胃・腸のポリープ 腸閉塞 大腸炎	胃・腸の病 急性肝臓炎 肝臓のうよう胆石 胆のう炎
B 群	肝臓・胆のう・膵臓の病 肝硬変 慢性肝臓炎 肝臓のうよう胆石 胆のう炎	急性肝臓炎 肝臓のうよう胆石 胆のう炎
C 群	慢性腎臓炎 急性腎臓炎 腎不全 腎臓の病 腎臓の病 腎臓の病 腎臓の病	急性腎臓炎 腎臓の病 腎臓の病
D 群	気管支の病 結核 肺がん 慢性閉塞性肺疾患 気管支炎 気管支拡張症 気管支炎 気管支炎	急性腎臓炎 腎臓の病 腎臓の病

疾病群	I 欄	II 欄
E 群	脳血管・循環器の病 脳卒中(脳出血・脳こうそく(脳軟化)・くも膜下出血) 心臓弁膜症 心筋こうそく 心筋症 狭心症 不整脈(心房細動など、人工ペースメーカーを使用した場合を含みます。) 心臓病 動脈硬化症	高血圧症 静脈瘤
F 群	骨のしゅよう性疾患	腰痛症 変形性脊椎症 ギックリ腰 椎間板ヘルニア 骨粗しょう症 後縦靱帯骨化症
H 群	眼の病	白内障 緑内障 網膜剥離 網膜症
I 群	婦人の病	子宮筋腫 子宮内腺症 卵巣のう腫 乳がん(乳癌) 乳癌(乳癌) 不正出血

*告知書で告知していただいた内容により、ご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。
*保険始期より前に発症している病気については、保険金をお支払いできません。ただし、ご加入初年度から1年経過後は支払いの対象となる保険金があります。
*保険金をお支払いする事故が起きた場合、お支払内容により継続加入のご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。

1 病気の保険、2 がん保険

手術保険金の対象となる手術と対象とならない手術

支払対象となる手術は、公的医療保険制度に基づく医師診療報酬点数表^(※1)により手術料が算定される手術とし、支払対象となる手術の範囲が拡大します。ただし、以下のような軽微な手術については支払対象となりませんので、ご注意ください。

ア.創傷処理 イ.皮膚切開術 ウ.デブリードマン エ.レーシック手術 オ.歯根膿腫摘出術^(※2)
カ.骨または関節の非観血的または徒手的な整復術・整復固定術および授動術 キ.抜歯手術 ク.鼻焼灼術(鼻粘膜、下甲介粘膜)
ケ.診断・検査のための手術(生検など)、処置、注射^(※3) コ.歯根端切除術^(※2) など

【支払対象外となる例】
(※1)手術を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められている医師診療報酬点数表をいいます。
(※2)歯科診療報酬点数表に手術料の算定対象としている診療行為でも、医師診療報酬点数表において手術料の算定対象としない診療行為は支払対象外となります。
(※3)手術料の算定対象となっている注射は除きます。

ご加入に際して特にご確認いただきたい事項や、ご加入者にとって不利益になる事項等、特にご注意いただきたい事項を記載しています。ご加入になる前に必ずお読みいただきますようお願いいたします。
 [加入者ご本人以外の被保険者（保険の対象となる方。以下同様とします。）にも、このパンフレットに記載した内容をお伝えください。また、ご加入の際は、ご家族の方にもご契約内容をお知らせください。]

この保険のあらまし(契約概要のご説明)

■商品の仕組み:この商品は団体総合保険普通保険約款に医療保険基本特約、疾病保険特約、がん保険特約等を、所得補償保険普通保険約款に各種特約を、団体長期障害所得補償保険普通保険約款に各種特約を、傷害総合保険普通保険約款に弁護士費用総合補償特約等の各種特約をセットしたものです。

■保険契約者:大阪府中小企業団体中央会

■保険期間:2022年7月1日午後4時から1年間となります。

■申込締切日:2022年6月10日

■引受条件(保険金額等)、保険料、保険料払込方法等:引受条件(保険金額等)、保険料は本パンフレットに記載しておりますので、ご確認ください。

●加入対象者:大阪府中央会の会員組合構成企業等の事業主および役員個人が対象となります。

●被保険者:[加入者が法人の場合]法人の役員員(パート・アルバイト・臨時雇用を含みます。)および役員員と同居の家族*

[加入者が個人の場合]本人および同居の家族*

(新・団体医療保険)新規加入の場合、満69歳(継続加入の場合は満79歳)までの方が対象となります。

(所得補償保険)新規加入の場合は満15歳以上満64歳以下(継続加入の場合は満69歳以下の方)で有職の方にかざります。

(団体長期障害所得補償保険)満59歳以下で有職の方にかざります。

※家族とは、配偶者、子供、両親、兄弟および同居している親族ならびに同居している使用人をいいます。

被保険者本人のみが保険対象になります。

弁護士のちからにご加入になる場合は、未成年者を除きます。

●お支払方法:2022年9月から毎月26日(土日祝日の場合は金融機関の翌営業日)に口座引落としとなります。(12回払)

●お手続方法:下表のとおり必要事項にご記入のうえ、取扱代理店までご提出ください。

ご加入対象者		お手続方法
新規加入者の皆さま		添付の「加入依頼書」および「告知書」に必要事項をご記入のうえ、ご提出いただきます。
既加入者の皆さま	前年と同等条件のプラン(送付した加入依頼書に打ち出したプラン)で継続加入を行う場合	配布した加入依頼書をご使用いただき、継続手続きをしてください。
	ご加入プランを変更するなど前年と条件を変更して継続加入を行う場合 ^{※1}	前年と条件を変更する旨を記載した「加入依頼書」および「告知書」 ^{※2} をご提出いただきます。 ※2 告知書は、保険金額の増額等、補償を拡大して継続される場合のみご提出が必要です。
	継続加入を行わない場合	継続加入を行わない旨を記載した「加入依頼書」をご提出いただきます。

傷害総合保険にご加入の方は、ご契約の保険料を算出する際や保険金をお支払いする際の重要な項目である職種級別は、職種級別表をご確認ください。
 ※1 なお、加入依頼書に打ち出された職業・職種に変更が必要な場合は、加入依頼書を訂正してご提出ください。加入依頼書の修正方法は取扱代理店までお問い合わせください。

●中途加入:保険期間の中途でのご加入は、毎月、受付をしています。その場合の保険期間は、毎月20日までの受付分は受付日の翌月1日(20日過ぎの受付分は翌々月1日)から2023年7月1日午後4時までとなります。

保険料につきましては、中途加入の保険期間開始日の翌々月の26日(土日祝日の場合は金融機関の翌営業日)から毎月口座引落としとなります。

●中途脱退:この保険から脱退(解約)される場合は、ご加入窓口の取扱代理店までご連絡ください。

●団体割引:過去の損害率による割引率は、本団体契約の前年のご加入人数や保険金のお支払い状況により決定しています。次年度以降、割引率が変更となることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、団体のご加入人数が10名を下回った場合は、この団体契約は成立しませんので、ご了承ください。

■満期返れい金・契約者配当金:この保険には、満期返れい金・契約者配当金はありません。

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】

【病気の保険】(新・団体医療保険)

被保険者が、日本国内または国外において保険期間中に疾病を被り、その直接の結果として、入院を開始した場合、手術を受けられた場合等に保険金をお支払いします。

保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いできない主な場合
疾病入院 保険金	保険期間中に疾病を被り、入院を開始した場合、1回の入院につき120日を限度として、入院した日数に対し、入院1日につき疾病入院保険金日額をお支払いします。 ただし、初年度加入および継続加入の保険期間を通算して1,000日が限度となります。 疾病入院保険金の額 = 疾病入院保険金日額 × 入院した日数	①故意または重大な過失 ②戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為^{※1)}を除きます。)、核燃料物質等によるもの ③自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ④無資格運転、酒気を帯びた状態での運転による事故 ⑤麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の使用(治療を目的として医師が用いた場合を除きます。) ⑥傷害 ⑦妊娠、出産、ただし、異常分娩等、「療養の給付」等^{※2)}の支払いの対象となる場合を除きます。 ⑧頸(けい)部圧症候群(いわゆる「むちうち症」)、腰痛等で医学的他覚所見^{※3)}のないもの ⑨アルコール依存、薬物依存等の精神障害 など
	以下の(1)または(2)のいずれかの場合に保険金をお支払いします。 (1) 保険期間中に疾病を被り、かつその疾病の治療のために病院または診療所において以下の①から③までのいずれかの手術^{※1)}を受けた場合、疾病手術保険金をお支払いします。なお、手術の種類によっては、回数などの制限があります。 ① 公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている手術^{※2)} ② 先進医療に該当する手術^{※2)} ③ 放射線治療に該当する診療行為 手術(重大手術^{※3)}以外) <入院中に受けた手術の場合>疾病手術保険金の額=疾病入院保険金日額×20(倍) <外来で受けた手術の場合>疾病手術保険金の額=疾病入院保険金日額×5(倍) (注) 重大手術を受けた場合は、入院中・外来を問わず、40倍とします。 ※1) 以下の手術は対象となりません。 創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非腫瘍的または徒手的な整復術・整復固定術および授動術、抜歯手術、鼻焼灼術、美容整形上の手術、疾病を直接の原因としない不正手術、診断・検査のための手術、公的医療保険制度における医科診療報酬点数表で手術料の算定対象とならない乳房再建術、視力矯正を目的としたレーザー・冷凍凝固による眼球手術(レーシック手術等) など ※2) 先進医療に該当する手術は、治療を直接の目的としてメス等の器具を用いて患部または必要部位に切開、抽出等の処置を施すものにかざります。 ※3) 重大手術とは以下の手術をいいます。 ① 開頭手術(穿頭術を含みます。) ② 悪性新生物に対する開胸手術および開腹手術(胸腔鏡・経胸鏡・腹腔鏡を用いた手術を含みます。) ③ 心臓・大動脈・大静脈・肺動脈・冠動脈の病変に対する開胸手術および開腹手術 ④ 四肢切断術(手指、足指を除きます。) ⑤ 腎臓(せきぞう)摘出術 ⑥ 日本国内で行われた、心臓・肺・肝臓・膵(すい)臓・腎(じん)臓(それぞれ、人工臓器を除きます。))の全体または一部の移植手術。ただし、臓器の移植に関する法律(平成9年法律第104号)に規定する移植手術にかざります。 (2) 骨髄幹細胞採取手術^{※1)}を受けた場合は、保険期間中に確認検査^{※2)}を受けた時を疾病を被った時とみなして、(1)と同様の保険金額を疾病手術保険金としてお支払いします。 ※1) ご加入初年度の保険期間の開始時からその日を含めて1年経過した後に受けた場合にお支払いの対象となります。なお、提供者と受容者が同一となる自家移植の場合は、保険金をお支払いしません。 ※2) 「確認検査」とは、骨髄幹細胞の受容者との白血球の型等の適合等を確認するための検査のうち、最初に行ったものをいいます。ただし、骨髄バンクドナーの登録の検査を除きます。 疾病手術保険金は、手術を受けられることにお支払いしますが、手術の種類によっては、お支払いする回数・保険金の額に以下(1)から(4)までの制限があります。 (1) 時期を同じくして2種類以上の手術を受けた場合、疾病手術保険金の額の最も高いいずれか1つの手術についてのみお支払いします。 (2) 同一の手術(同一の先進医療に該当する手術を含みます。)を2回以上受けた場合で、それらの手術が一連の手術^{※1)}に該当するときは、同一手術期間^{※2)}に受けた一連の手術^{※1)}については、疾病手術保険金の額の最も高いいずれか1つの手術についてのみお支払いします。 ※1) 一連の手術とは、医科診療報酬点数表または歯科診療報酬点数表において、一連の治療過程に連続して受けた場合でも手術料が1回のみ算定されるものとして定められている手術をいいます。 ※2) 同一手術期間とは、一連の手術のうち最初に手術を受けた日からその日を含めて60日間をいいます。また、同一手術期間経過後に一連の手術を受けた場合は、直前の同一手術期間経過後最初にその手術を受けた日からその日を含めて60日間を新たな同一手術期間とします。 (3) 医科診療報酬点数表または歯科診療報酬点数表において、手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術を受けた場合は、その手術を受けた1日目についてのみお支払いします。 (4) 放射線治療を2回以上受けた場合は、施術の開始日から60日の間に1回のお支払いを限度とします。	※1) 「テロ行為」とは、政治的・社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行為をいいます。以下同様とします。 ※2) 「療養の給付」等とは、公的医療保険制度を定める法令に規定された「療養の給付」に要する費用ならびに「療養費」、「家族療養費」、「保険外併用療養費」、「入院時食事療養費」、「移送費」および「家族移送費」をいいます。 ※3) 「医学的他覚所見」とは、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査等により認められる異常所見をいいます。以下同様とします。
疾病入院 一時金	保険期間中に疾病を被り、継続して120日を超えて入院した場合、疾病入院一時金保険金額をお支払いします(1回の入院について1回限りとなります。)	

(注) 初年度加入の締結の後に保険金のお支払条件の変更があった場合は、次の①または②の保険金の額のうち、いずれか低い金額をお支払いします。

ただし、入院の原因となった疾病を被った時から起算して1年を経過した後に入院を開始した場合を除きます。

①被保険者が疾病を被った時のお支払条件により算出された保険金の額

②被保険者が入院を開始した時のお支払条件により算出された保険金の額

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】(続き)

【オプション】

保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いできない主な場合
三大疾病診断 保険金	被保険者が責任開始日以降の保険期間中に次の①から③までのいずれかの支払事由に該当した場合、三大疾病診断保険金額をお支払いします。ただし、支払事由に該当した場合であっても、同一の支払事由に前回該当した日からその日を含めて1年以内であるときは、保険金をお支払いしません。 ① 次のいずれかに該当したこと。 ア、初めてがん ^{※1} が、治療したことにより、がんが認められない状態となり、その後初めてがんが再発または転移したと診断確定されたこと。 ウ、原発がんとは関係なく、がんが新たに生じたと診断確定されたこと。 ② 急性心筋こうそくを発病し、その治療を直接の目的として入院を開始したこと。 ③ 脳卒中(くも膜下出血、脳内出血、脳こうそく)を発病し、その治療を直接の目的として入院を開始したこと。 (※)初年度契約からこの保険契約までの連続した継続契約のいずれかの保険期間中にすでに診断確定されたがんをいいます。	①故意または重大な過失 ②戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為を除きます。) ③核燃料物質(使用済燃料を含みます。)、もしくは核燃料物質によって汚染された物(原子核分裂生成物を含みます。)、の放射性、爆発性その他の有害な特性 ④上記以外の放射線照射または放射能汚染 など
介護一時金	保険期間中に、疾病や傷害などにより所定の要介護状態 ^{(※1)・(※2)} となり、その要介護状態が要介護状態に該当した日からその日を含めて90日を超えて継続した場合、介護一時金保険金額をお支払いします。 ※保険金をお支払いした場合この特約は失効するため、お支払いは1回かぎりとなります。 (※1)要介護状態とは、損保ジャパンが定める所定の要介護状態をいい、公的介護保険制度における要介護認定基準とは異なります。そのため、公的介護保険制度での要介護認定にかかわらず、この保険でお支払いの対象となるかを独自に判断します。 (※2)目安として公的介護保険制度(平成27年10月現在)における「要介護2相当」から支払対象となります。	①故意または重大な過失 ②自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ③無資格運転、酒気を帯びた状態で運転による事故 ④麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の使用(治療を目的として医師が用いた場合を除きます。) ⑤アルコール依存、薬物依存または薬物乱用(治療を目的として医師が用いた場合を除きます。) ⑥先天性異常 ⑦地震、噴火またはこれらによる津波 ⑧戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為を除きます。)、核燃料物質等によるもの ⑨頸(いり)部症候群(いわゆる「むちうち症」)、腰痛等で医学的他覚所見のないもの など
先進医療等 費用保険金 (注)	保険期間中に傷害または疾病を被り、被保険者が日本国内で先進医療等 ^{※1} を受けたことにより負担した先進医療 ^{※2} の技術料や臓器移植に要する費用等を先進医療等費用保険金額を限度にお支払いします。 (※1)先進医療および臓器移植術をいいます。 (※2)病院等において行われる医療行為のうち、一定の施設基準を満たした病院等が厚生労働省への届出により行う高度な医療技術を行います。対象となる先進医療の種類については、保険期間中に変更となることがあります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。 (https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryoku/kikanhtml)	①故意または重大な過失 ②戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為を除きます。)、核燃料物質等によるもの ③自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ④麻薬、大麻、あへん、覚せい剤等の使用(治療を目的として医師が用いた場合を除きます。) ⑤頸(いり)部症候群(いわゆる「むちうち症」)、腰痛等で医学的他覚所見のないもの ⑥無資格運転、酒気を帯びた状態で運転による事故 ⑦地震、噴火またはこれらによる津波(天災危険補償特約をセットしない場合) ⑧妊娠、出産 ⑨ヒックル等の登山用具を使用する山岳登山、ロッククライミング(フリークライミングを含みます。)、登る壁の高さが5mを超えるボルダリング、航空機操縦(職務として操縦する場合を除きます。)、ハンググライダー搭乗等の危険な運動を行っている間の事故 ⑩自動車、原動機付自転車等による暴走、競争、興行(これらに準ずるものおよび練習を含みます。)、間の事故 など
疾病葬祭費用 保険金 (注)	保険期間中に疾病を被りかつ死亡され、被保険者の親族の方が葬祭費用を負担された場合、疾病葬祭費用保険金額を限度として、その負担した費用をお支払いします。	①故意または重大な過失 ②戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為を除きます。)、核燃料物質等によるもの ③自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ④無資格運転または酒気を帯びた状態で運転による事故 ⑤麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の使用(治療を目的として医師が用いた場合を除きます。) ⑥傷害 ⑦妊娠、出産。ただし、異常分娩等、「療養の給付」等 ^(※) の支払いの対象となる場合を除きます。 ⑧頸(いり)部症候群(いわゆる「むちうち症」)、腰痛等で医学的他覚所見のないもの ⑨アルコール依存、薬物依存等の精神障害 など (※)「療養の給付」等とは、公的医療保険制度を定める法令に規定された「療養の給付」に要する費用ならびに「療養費」、「家族療養費」、「保険外併用療養費」、「入院時食事療養費」、「移送費」および「家族移送費」をいいます。

(注)補償内容が同様の契約^{※1}が他にある場合は、補償が重複することがあります。補償が重複すると、対象となる事故については、どちらの契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金が支払われない場合があります。ご加入にあたっては、補償内容の差異や保険金額をご確認いただき、補償・特約の要否をご判断ください^{※2}。
(※1)傷害保険の他、火災保険や自動車保険などにセッされる特約や他社のご契約を含みます。
(※2)1契約のみに補償・特約をセッした場合、ご契約を解約したときや、家族状況の変化(同居から別居への変更等)により被保険者が補償の対象外になったときなどは、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。

その他ご注意いただきたいこと

●特定疾病等対象外特約について

告知書で告知していた内容により、ご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。特別な条件付きでご加入いただく場合は、「特定疾病等対象外特約」により、特定の疾病群について補償対象外とする条件付きでご加入いただけます。
※例えば、F群「腰・背椎の疾病」の場合、告知書記載の疾病に関わらず、腰・背椎の疾病はすべて補償の対象外となります。
・「特定疾病等対象外特約」をセッされた条件でのご契約を継続される場合、継続契約においても、原則として「特定疾病等対象外特約」がセッされます。
・ご継続時に補償対象外とする疾病群が完治してから1年以上経過している場

合は、継続契約の保険始期から「特定疾病等対象外特約」を削除できることがあります。ただし、被保険者の年齢や補償対象外とする疾病群によっては、「特定疾病等対象外特約」を削除できないこともあります。また、保険期間の中途での削除はできません。
(削除できない場合の例)
○補償対象外とする疾病群が複数の場合
○告知書「疾病・症状一覧表」のF群「腰・背椎の疾病」が補償対象外となっている場合 など
・詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

用語のご説明

用語	用語の定義
疾病(病気)	傷害以外の身体の障害をいいます。
傷害(ケガ)	急激かつ偶然な外来の事故によって被った身体の傷害をいい、この傷害には、身体外部から有毒ガスまたは有害物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に生ずる中毒症状を含みます。 ただし、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みません。 ・「急激」とは、突発的に発生することであり、ケガの原因としての事故がゆるやかに発生するのではなく、原因となった事故から結果としてのケガまでの過程が直接的で時間的間隔のないことを意味します。 ・「偶然」とは、「原因の発生が偶然である」「結果の発生が偶然である」のいずれかに該当する予知されない出来事をいいます。 ・「外来」とは、ケガの原因が被保険者の身体の外からの作用によることをいいます。 (注) 乾し、車酔い、熱中症、しめやけ等は、「急激かつ偶然な外来の事故」に該当しません。
入院	自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。 ただし、美容上の処置、正常分娩、疾病を直接の原因としない不妊手術、治療処置を伴わない人間ドック検査等による入院は除きます。
1回の入院	入院が終了した日からその日を含めて180日を経過した日までの期間中に、同一の身体の障害(疾病)については、前の入院の原因となった疾病と医学上密接な関係にあると認められる疾病を含みます。により再入院された場合は、前後の入院を合わせて1回の入院とみなします。保険金をお支払いするべき入院中に、保険金をお支払いするべき他の身体の障害を被った場合は、当初の入院と他の身体の障害による入院を合わせて1回の入院とみなします。
先進医療	病院等において行われる医療行為のうち、一定の施設基準を満たした病院等が厚生労働省への届出により行う高度な医療技術を行います。対象となる先進医療の種類については、保険期間中に変更となることがあります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。 (https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryoku/kikanhtml)
放射線治療	次の①または②のいずれかに該当する診療行為をいいます。 ①公的医療保険制度における医師診療報酬点数表に、放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為 ^(※) 。 ただし、血液照射を除きます。 ②先進医療に該当する放射線照射または温熱療法による診療行為 (※)歯科診療報酬点数表に放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医師診療報酬点数表においても放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為を含みます。
治療	医師が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。ただし、被保険者が医師である場合は、被保険者以外の医師による治療をいいます。
がん	「厚生労働省大臣官房統計情報部編、疾病、傷害および死因統計分類提要ICD-10(2003年版)準拠」に定められた分類項目中、所定の悪性新生物をいいます。詳細につきましては、損保ジャパン 公式ウェブサイト掲載の約款集をご覧ください。
がんと診断 確定された時	医師または歯科医師 ^(※) が、病理組織学的所見(剖検や生検)、細胞学的所見、理学的所見(X線や内視鏡等)、臨床学的所見および手術所見の全部またはいずれかによってがんを診断確定した時をいいます。 (※)被保険者が医師または歯科医師である場合は、被保険者以外の医師または歯科医師をいいます。
親族	6親等内の血族、配偶者または3親等内の姻族をいいます。

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】		
【がん保険】 被保険者が、責任開始日以降の保険期間中にがんと診断確定され、その直接の結果として、入院を開始した場合、手術を受けた場合、外来治療を開始した場合等に保険金をお支払いします。ご加入初年度の保険期間の開始日からその日を含めて91日目（責任開始日）以降に該当した支払事由が保険金お支払いの対象となります。		
保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いできない主な場合
がん診断保険金	責任開始日以降の保険期間中に初めてがんと診断確定された場合、またはがんと診断確定されその治療を直接の目的として入院を開始された場合、がん診断保険金額をお支払いします。 なお、2回目以降のがん診断保険金のお支払いは、保険金の支払事由に該当した最終の日からその日を含めて2年以内に該当した支払事由については、保険金をお支払いしませんが、がんの診療を直接の目的として入院中の場合は、保険金をお支払いします。	①故意または重大な過失 ②戦争、外国の武力行使、暴動（テロ行為 ^(※1) を除きます。） ③核燃料物質（使用済燃料を含みます。）もしくは核燃料物質によって汚染された物（原子核分裂生成物を含みます。）の放射性、爆発性その他の有害な特性 ④上記以外の放射線照射または放射能汚染 ⑤がん以外での入院、手術、通院 など
がん入院保険金	責任開始日以降の保険期間中にがんと診断確定され、その直接の結果として入院を開始した場合、入院した日数に対し、入院1日につきがん入院保険金日額をお支払いします。 がん入院保険金の額＝がん入院保険金日額×入院した日数	（※1）「テロ行為」とは、政治的・社会的もしくは宗教・思想的な主義、主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義、主張に関して行う暴力的行為をいいます。以下同様とします。
がん手術保険金	責任開始日以降の保険期間中にがんと診断確定され、がんの治療のために病院または診療所において以下①から③までのいずれかの手術 ^(※1) を受けた場合、がん手術保険金をお支払いします。 ① 公的医療保険制度における医師診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている手術 ② 先進医療に該当する手術 ^(※2) ③ 放射線治療に該当する診療行為 手術（重大手術^(※3)以外） （入院中に受けた手術の場合）がん手術保険金の額＝がん入院保険金日額×20（倍） （外来で受けた手術の場合）がん手術保険金の額＝がん入院保険金日額×5（倍） 重大手術^(※3) がん手術保険金の額＝がん入院保険金日額×40（倍） （注）重大手術を受けた場合は、入院中・外来を問わず、40倍とします。	
	（※1）以下の手術は対象となりません。 創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手の全修復術・修復固定術および授動術、抜歯手術、鼻焼灼術、美容整形上の手術、疾病を直接の原因としない不妊手術、診断・検査のための手術 など （※2）先進医療に該当する手術は、治療を直接の目的としてメス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものにかぎります。 （※3）重大手術とは以下の手術をいいます。 ① 悪性新生物に対する開頭手術（穿頭術を含みます。） ② 悪性新生物に対する開胸手術および開腹手術（胸腔鏡・縦隔鏡・腹腔鏡を用いた手術を含みます。） ③ 悪性新生物に対する四肢切断術（手指・足指を除きます。） ④ 腎臓（せきぞう）腫（腫）摘出術 ⑤ 悪性新生物の治療を直接の目的として日本国内で行われた、心臓・肝臓・脾臓（いん・へつ・じん）臓（それぞれ、人工臓器を除きます。）の全体または一部の移植手術。ただし、臓器の移植に関する法律（平成9年法律第104号）に規定する移植手術にかぎります。 がん手術保険金は、手術を受けられることにお支払いしますが、手術の種類によっては、お支払いする回数・保険金の額に以下（1）から（5）までの制限があります。 （1）時期を同じくして2種類以上の手術を受けた場合、がん手術保険金の額の最も高いいずれか1つの手術についてのみお支払いします。 （2）同一の手術（同一の先進医療に該当する手術を含みます。）を2回以上受けた場合、それらの手術が一連の手術 ^(※1) に該当するときは、同一手術期間 ^(※2) に受けた一連の手術 ^(※1) については、がん手術保険金の額の最も高いいずれか1つの手術についてのみお支払いします。 （※1）一連の手術とは、医師診療報酬点数表または歯科診療報酬点数表において、一連の治療過程に連続して受けた場合でも手術料が1回のみ算定されるものとして定められている手術をいいます。 （※2）同一手術期間とは、一連の手術のうち最初に手術を受けた日からその日を含めて60日間をいいます。また、同一手術期間経過後に一連の手術を受けた場合は、直前の同一手術期間経過後最初にその手術を受けた日からその日を含めて60日間を新たな同一手術期間とします。 （3）医師診療報酬点数表または歯科診療報酬点数表において、手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術を受けた場合は、その手術を受けた1日目についてのみお支払いします。 （4）放射線治療を2回以上受けた場合は、施術の開始日から60日の間に1回のお支払いを限度とします。 （5）乳房再建術については、公的医療保険制度における医師診療報酬点数表の手術料算定対象として列挙されている診療行為に該当しない場合であっても、がん手術保険金をお支払いします。ただし、その場合は、1回の入院につき1乳房に対して1回のお支払いを限度とします。	
がん外来治療保険金	責任開始日以降の保険期間中にがんと診断確定され、その直接の結果として外来治療を開始した場合、120日を限度として、外来治療を受けた日数に対し、1日につきがん外来治療保険金日額をお支払いします。 なお、がん入院保険金をお支払いするべき期間中に外来治療を受けた場合は、がん入院保険金日額またはがん外来治療保険金日額のいずれか高い額をお支払いします。 がん外来治療保険金の額＝がん外来治療保険金日額×外来治療を受けた日数	

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】（続き）		
保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いできない主な場合
がん先進医療等費用保険金（注2）	保険期間中に傷害または疾病を被り、被保険者が日本国内で先進医療等 ^(※1) を受けたことにより負担した先進医療 ^(※2) の技術料や臓器移植に要する費用等を先進医療等費用保険金額を限度にお支払いします。 （※1）先進医療および臓器移植術をいいます。 （※2）病院等において行われる医療行為のうち、一定の施設基準を満たした病院等が厚生労働省への届出により行う高度な医療技術をいいます。対象となる先進医療の種類については、保険期間中に変更となることがあります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。 https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan.html	①故意または重大な過失 ②戦争、外国の武力行使、暴動（テロ行為を除きます。）、核燃料物質等によるもの ③自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ④麻薬、大麻、あへん、覚せい剤等の使用（治療の目的として医師が用いた場合を除きます。） ⑤頭（けい）部症候群（いわゆる「むちうち症」）、腰痛等て医学的所見のないもの ⑥無資格運転、酒気を帯びた状態で運転による事故 ⑦地震、噴火またはこれらによる津波（天災危険補償特約をセットしない場合） ⑧妊娠、出産 ⑨ビッケル等の登山用具を使用する山岳登山、ロッククライミング（フリークライミングを含みます。）、登る壁の高さが5mを超えるボルダリング、航空機操縦（職務として操縦する場合を除きます。）、ハンクグライダー操縦等の危険な運動を行っている間の事故 ⑩自動車、原動機付自転車等による競技、競歩、飛行（これらに準ずるものおよび練習を含みます。）、開の事故 など
（注1）初年度加入の締結の後に保険金のお支払条件の変更があった場合は、次の①または②の保険金の額のうち、いずれか低い金額をお支払いします。 ①このご契約のお支払条件により算出された保険金の額 ②被保険者ががんと診断確定された時のご契約のお支払条件により算出された保険金の額 （注2）補償内容が同様のご契約 ^(※1) が他にある場合は、補償が重複することがあります。補償が重複すると、対象となる事故については、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金が支払われない場合があります。ご加入にあたっては、補償内容の差異や保険金額をご確認いただき、補償・特約の要否をご判断ください ^(※2) 。 （※1）傷害保険の他、火災保険や自動車保険などにセットされる特約や他社のご契約を含みます。 （※2）1契約のみに補償・特約をセットした場合、ご契約を解約したときや、家族状況の変化（同居から別居への変更等）により被保険者が補償の対象外になったときなどは、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。		
その他ご注意いただきたいこと ・特定疾病等対象外特約について ・告知書で告知していただいた内容により、ご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。特別な条件付きでご加入いただく場合は、「特定疾病等対象外特約」により、特定の疾病群について補償対象外とする条件付きでご加入いただけます。 ※例えば、F群【腰・脊椎の疾病】の場合、告知書記載の疾病に関わらず、腰・脊椎の疾病はすべて補償の対象外となります。 ・「特定疾病等対象外特約」をセットされた条件でのご契約を継続される場合、継続契約においても、原則として「特定疾病等対象外特約」がセットされます。		
・継続時に補償対象外とする疾病群が完治してから1年以上経過されている場合は、継続契約の保険始期から「特定疾病等対象外特約」を削除できることがあります。ただし、被保険者の年齢や補償対象外とする疾病群によっては、「特定疾病等対象外特約」を削除できないこともあります。また、保険期間の中途での削除はできません。（削除できない場合の例） ・補償対象外とする疾病群が複数の場合 ・告知書【疾病・症状一覧表】のF群（腰・脊椎の疾病）が補償対象外となっている場合 など ・詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。		
用語のご説明		
用語	用語の定義	
がん	「厚生労働省大臣官房統計情報部編、疾病、傷害および死因統計分類提要ICD-10(2003年版)準拠」に定められた分類項目中、所定の悪性新生物をいいます。詳細につきましては、損保ジャパン公式ウェブサイト掲載の約款をご覧ください。	
がんと診断確定された時	医師または歯科医師 ^(※1) が、病理組織学的所見（創傷や生検）、細胞学的所見、理学的所見（X線や内視鏡等）、臨床学的所見および手術所見の全部またはいずれかによってがんと診断確定した時をいいます。 （※）被保険者が医師または歯科医師である場合は、被保険者以外の医師または歯科医師をいいます。	
責任開始日	ご加入初年度の保険期間の開始日からその日を含めて90日を経過した日の翌日をいいます。	
外来治療	病院もしくは診療所に通い、または往診により、治療を受けることをいいます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。	
入院	自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。ただし、美容上の処置、正常分娩、疾病を直接の原因としない不妊手術、治療処置を伴わない人間ドック検査等による入院は除きます。	
先進医療	病院等において行われる医療行為のうち、一定の施設基準を満たした病院等が厚生労働省への届出により行う高度な医療技術を含みます。対象となる先進医療の種類については、保険期間中に変更となることがあります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。 https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan.html	
放射線治療	次の①または②のいずれかに該当する診療行為をいいます。 ①公的医療保険制度における医師診療報酬点数表に、放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為 ^(※1) 。 ただし、血液照射を除きます。 ②先進医療に該当する放射線照射または温熱療法による診療行為 （※）医師診療報酬点数表に放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医師診療報酬点数表において放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為を含みます。	
乳房再建術	がんの治療を直接の目的とした乳房の切除術により喪失された乳房の形態を皮膚弁 ^(※1) または人工物を用いて正常に近い形態に戻すことを目的とする手術をいいます。乳頭または乳輪を対象とする手術は、乳房再建術には含みません。 （※）皮膚弁 皮膚の欠損部を被覆するための植皮術は含みません。	
治療	医師が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。ただし、被保険者が医師である場合は、被保険者以外の医師による治療をいいます。	

補償の内容[保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合]

【所得補償保険】(1年タイプ)

保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金の主な内容	保険金をお支払いできない主な場合
所得補償保険(基本補償)(※)	次の計算式によって算出した金額をお支払いします。 $\text{お支払いする保険金の額} = \frac{\text{保険金額(月額)}^{(※1)} \times \text{就業不能期間(保険金をお支払いする期間)}^{(※2)}}{\text{月数}^{(※3)}}$ $\text{就業不能期間(保険金をお支払いする期間)}^{(※2)} = \text{就業ができない期間} - \text{支払対象外期間}$ (※1) 加入依頼書等記載の保険金額(月額)をいい、就業不能1か月についての額とします。ただし、平均月間所得額が保険金額(月額)より小さい場合は、平均月間所得額となります。 (※2) 加入依頼書等に記載された業務に全く従事できない期間が支払対象外期間を超えた時から対象期間(1年)が始まり、その対象期間内における就業不能の期間(日数)をいいます。 (※3) 就業不能期間(保険金をお支払いする期間)が1か月に満たない場合または就業不能期間(保険金をお支払いする期間)に1か月末満の端日数がある場合は、1か月を30日として日割計算します。 (注1) 対象期間(1年)を経過した後の期間の就業不能に対しては、保険金をお支払いしません。 (注2) 原因または時が異なっても発生した身体障害により就業不能期間が重複する場合は、重複する期間に対して重ねて保険金をお支払いしません。 (注3) 初年度加入の給付後に保険金のお支払条件の変更があった場合は、次の①または②の保険金の額のうち、いずれか低い金額をお支払いします。ただし、身体障害を被った時から起算して1年を経過した後に就業不能となった場合を除きます。 ①被保険者が身体障害を被った時のお支払条件により算出された保険金の額 ②被保険者が就業不能になった時のお支払条件により算出された保険金の額 (注4) 支払対象外期間を超える就業不能が終了した後、その就業不能の原因となった身体障害によって6か月以内に就業不能が再発した場合は、後の就業不能は前の就業不能と同一の就業不能とみなします。ただし、就業不能が終了した日からその日を合せて6か月を経過した日の翌日以降に被保険者が再び就業不能になった場合は、後の就業不能は前の就業不能とは異なった就業不能とみなし、新たに支払対象外期間および対象期間を適用します。 (注5) 通算 支払限度期間に関する特約がセットされているため、保険金のお支払いは、初年度加入 ^(※) および継続加入の保険期間を通算して1,000日を限度とします。なお、初年度加入 ^(※) および継続加入の保険期間を通算して1,000日分の保険金がお支払した場合、満期時にご継続をお断りする場合があります。 (※) 本特約をセットした契約への初めての加入をいいます。 (注6) 骨髄採取手術を直接の目的として入院した場合、支払対象外期間はなく、対象期間における被保険者の就業不能の日数に4日を加えた日数を就業不能期間として保険金をお支払いします。 なお、初年度加入の保険期間の初日から1年後の応当日の翌日以降である場合にのみ保険金をお支払いします。	●次の事由によって被った身体障害(病気またはケガ)による就業不能に対しては、保険金をお支払いしません。 ①故意または重大な過失 ②自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ③麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の使用(治療を目的として医師が用いた場合を除きます。) ④妊娠、出産、早産または流産 ⑤戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為 ^(※1) を除きます。)、核燃料物質等によるもの ⑥頸(けい)部症候群(いわゆる「むちうち症」)、腰痛等で医学的他覚所見 ^(※2) のないもの など ●次の事由によって被ったケガによる就業不能に対しては、保険金をお支払いしません。 ⑦自動車または原動機付自転車の無資格運転、酒気を帯びた状態での運転 ⑧地震、噴火またはこれらによる津波(天災危険補償特約をセットしない場合) など ●次に該当する就業不能に対しては、保険金をお支払いしません。 ⑨精神肉性障害、血管性認知症、知的障害、人格障害、アルコール依存および薬物依存等の精神障害を被り、これを原因として生じた就業不能 ⑩妊娠または出産を原因とした就業不能 (注) 精神障害臨床補償特約がセットされた場合、気分障害(躁病、うつ病)、統合失調症、神経衰弱、血管性認知症、知的障害等一部の精神障害を被り、これを原因として生じた就業不能は、お支払いの対象となります(アルコール依存、薬物依存等はお支払いの対象とはなりません。)
	被保険者が、日本国内または国外において、保険期間中に身体障害(病気またはケガ)を被り、その直接の結果として就業不能になった場合	

(※) 補償内容が同様のご契約^(※1)が他にある場合は、補償が重複することがあります。補償が重複すると、対象となる事故については、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金がお支払されない場合があります。ご加入にあたっては、補償内容の差異や保険金額をご確認いただき、補償・特約の要否をご判断ください^(※2)。
(※1) 所得補償保険の他、傷害保険・火災保険・自動車保険などにセットされる特約や他社のご契約を含みます。
(※2) 1契約のみに補償・特約をセットした場合、ご契約を解約したときや、家族状況の変化(同居から別居への変更等)により被保険者が補償の対象外になったときなどは、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。

その他ご注意くださいこと

●特定疾病等対象外特約について
・告知書で告知していた内容により、ご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。特別な条件付きでご加入いただく場合は、「特定疾病等対象外特約」により、特定の疾病群について補償対象外とする条件付きでご加入いただけます。
※例えば、F群「腰・背椎の疾病」の場合、告知書記載の疾病に関わらず、腰・背椎の疾病はすべて補償の対象外となります。
・「特定疾病等対象外特約」をセットされた条件でのご契約を継続される場合、継続契約においても、原則として「特定疾病等対象外特約」がセットされます。
・ご継続時に補償対象外とする疾病群が完治してから1年以上経過している場合は、継続契約の保険始期から「特定疾病等対象外特約」を削除できることがあります。ただし、被保険者の年齢や補償対象外とする疾病群によっては、「特定疾病等対象外特約」を削除できないこともあります。また、保険期間の中途での削除はできません。
(前除できない場合の例)
○補償対象外とする疾病群が複数の場合
○告知書「疾病・症状一覧表」のF群(腰・背椎の疾病)が補償対象外となっている場合 など
・詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。
●基本補償の保険金額の設定について
ご加入いただく基本補償の保険金額の設定については、ご加入直前12か月における所得の平均月間額の範囲内で、健康保険等の公的医療保険制度からの給付額等も考慮のうえ、適切な保険金額をお決めください。
また、他の保険契約等^(※)にご加入の場合は、ご加入いただいた保険金額を制限することがありますので、ご加入時にお申し出ください。
(※) 「他の保険契約等」とは、所得補償保険、積立所得補償保険、団体長期障害所得補償保険等、この保険契約の全部または一部に対して支払責任が同じである他の保険契約または共済契約をいいます。

被保険者が加入している公的医療保険制度	ご加入直前12か月における所得の平均月間額に対する保険金額割合
国民健康保険(例:個人事業主)	85%以下
健康保険(例:給与所得者)	50%以下 ※健康保険に優先して勤務先企業から休業補償が行われる場合は、40%以下
共済組合(例:公務員)	40%以下

用語のご説明

用語	用語の定義
疾病(病質)	傷害以外の身体の障害をいいます。
支払対象外期間	就業不能が開始した日から起算して、継続して就業不能である加入依頼書等記載の期間(日数)をいい、この期間に対しては、保険金をお支払いしません。 (※) 骨髄採取手術(組織の機能に障害がある者に対して骨髄幹細胞を移植することを目的とした被保険者の骨髄幹細胞を採取する手術をいいます。ただし、骨髄幹細胞の提供者と受容者が同一人となる自家移植の場合を除きます。以下同様とします。)を直接の目的として入院した場合には、支払対象外期間はありません。
就業不能	身体障害を被り、その身体障害の治療のために入院 ^(※) していること、または入院以外で医師の治療を受けていることにより、加入依頼書等記載の職業または職務に全く従事できない状態をいいます。なお、被保険者がその身体障害に起因して死亡された後もしくはその身体障害が治癒された後は、この保険契約においては、就業不能とはいいません。 (※) 骨髄採取手術を直接の目的として入院した場合は、加入依頼書等記載の職業または職務に全く従事できない状態をいいます。
就業不能期間(保険金をお支払いする期間)	対象期間内における被保険者の就業不能の期間(日数)をいいます。 (※) 骨髄採取手術を直接の目的として入院した場合は、対象期間内における被保険者の就業不能の期間(日数)に4日を加えた日数をいいます。
傷害(ケガ)	急激かつ偶然な外来の事故によって被った身体の傷害をいい、この傷害には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収した場合に急激に生ずる中毒症状を含みます。ただし、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒は含みません。 - 「急激」とは、突発的に発生することであり、ケガの原因としての事故がゆるやかに発生するのではなく、原因となった事故から結果としてのケガまでの過程が直接的で時間的間隔のないことを意味します。 - 「偶然」とは、「原因の発生が偶然である」「結果の発生が偶然である」「原因・結果とも偶然である」のいずれかに該当する予知されない出来事をいいます。 - 「外来」とは、ケガの原因が被保険者の身体の外からの作用によることをいいます。 (注) 乾すれ、車酔い、熱中症、しもやけ等は、「急激かつ偶然な外来の事故」に該当しません。
所得	加入依頼書等記載の職業または職務を遂行することにより得られる給与所得、事業所得または雑所得に係る総収入金額から就業不能となることにより支出を免れる金額を控除したものをいいます。ただし、就業不能の発生にかかわらず得られる収入は除かれます。
身体障害	傷害(傷害の原因となった事故を含みます。)および疾病をあわせて身体障害といます。 (※) 骨髄採取手術を含みます。
身体障害を被った時	次の①または②のいずれかの時をいいます。 ① 傷害については、傷害の原因となった事故発生の時。 ② 疾病については、医師の診断による発病の時。ただし、先天性異常については、医師の診断により初めて発見された時。 (※) 骨髄採取手術に伴う入院補償特約の場合は、確認検査を受けた時をいいます。
対象期間	支払対象外期間終了日の翌日から起算して加入依頼書等記載の期間をいい、この期間内における被保険者の就業不能の日数が保険金のお支払いの対象となります。 (※) 骨髄採取手術に伴う入院補償特約の場合は、就業不能が開始した日から起算して加入依頼書等記載の期間をいいます。
入院	医師による治療が必要な場合において、自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。 (※) 骨髄採取手術に伴う入院補償特約の場合は、骨髄採取手術を直接の目的として、病院または診療所に入り、常に医師の管理下に置かれることをいいます。
平均月間所得額	支払対象外期間が始まる直前12か月における被保険者の所得の平均月間額をいいます。ただし、支払対象外期間が始まる直前12か月において産前・産後休業、育児休業または介護休業のいずれかの休業等を取っている期間があることによりその期間の被保険者の所得の平均月間額が減少している場合は、所定の被保険者の所得がある期間における平均月間額とします。

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】		
【所得補償保険】（ロングタイプ）（団体長期障害所得補償保険）		
保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金の主な内容	保険金をお支払いできない主な場合
被保険者が、日本国内または国外において、保険期間中に身体障害（病気またはケガ）を被り、その直接の結果として就業障害になった場合	被保険者が被る損失に対して、支払対象外期間を超える就業障害である期間1か月につき次の計算式によって算出した額をお支払いします。	次の事由に起因する身体障害（病気またはケガ）による就業障害に対しては、保険金をお支払いしません。 ①故意または重大な過失 ②自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ③麻薬・大麻、あへん、覚せい剤、シンナー等の使用（治療を目的として医師が用いた場合を除きます。） ④戦争、外国の武力行使、暴動（テロ行為 ^(※1) を除きます。）、核燃料物質等によるもの ⑤頭(けい)部症候群(いわゆる「むちうち症」、腰痛等て医学的他覚所見 ^(※2) のないもの) ⑥自動車または原動機付自転車の無資格運転、酒気を帯びた状態で運転 ⑦地震、噴火またはこれらによる津波（天災危険補償特約をセットしない場合） ⑧精神病性障害、血管性認知症、知的障害、人格障害、アルコール依存および薬物依存等の精神障害を被り、これを原因として生じた就業障害 ⑨妊娠、出産、早産または流産 ⑩発熱等の他覚的症候のない感染
	お支払いする保険金の額(月額)＝保険金額×所得喪失率^(※1) (※1)所得喪失率 ＝(就業障害発生前の所得額－回復所得額)÷就業障害発生前の所得額 (注1)就業障害である期間1か月について最重保険金支払月額(30万円)を限度とします。 (注2)保険金額(支払基礎所得額)が平均月間所得額を超える場合は、平均月間所得額を保険金の算出の基礎としてお支払いする保険金の額を算出します。 (注3)保険金をお支払いする期間が1か月に満たない場合または保険金をお支払いする期間に1か月未満の満日数がある場合は、該当する月の日数で日割計算します。 (注4)補償の対象となる期間は、次の計算式によって算出します。 保険金をお支払いする期間^(※)＝就業障害である期間－支払対象外期間 (※)協定書に記載された業務に全く従事できない期間が支払対象外期間を超えた時から対象期間(60歳に達するまで)が始まり、その対象期間内における就業障害である期間(日数)をいいます。 対象期間が60歳満了のご契約であっても、ご加入時に満55歳以上の方は、対象期間は支払対象外期間終了日の翌日から起算して3年間となります。 (注5)対象期間(60歳に達するまで)を経過した後の期間の就業障害に対しては、保険金をお支払いできません。 (注6)原因または時が異なっても被った身体障害により就業障害である期間が重複する場合は、重複する期間に対して重ねて保険金をお支払いしません。 (注7)初年度加入の締結の後に保険金のお支払条件の変更があった場合は、次の①または②の保険金の額のうち、いずれか低い金額をお支払いします。 ただし、身体障害を被った時から起算して1年を経過した後に就業障害となった場合を除きます。 ①被保険者が身体障害を被った時のお支払条件により算出された保険金の額 ②被保険者が就業障害になった時のお支払条件により算出された保険金の額 (注8)支払対象外期間を超える就業障害が終了した後、その就業障害の原因となった身体障害によって6か月以内に就業障害が再発した場合は、後の就業障害は前の就業障害と同一の就業障害とみなします。ただし、就業障害が終了した日からその日を含めて6か月を経過した日の翌日以降に被保険者が再び就業障害となった場合は、後の就業障害は前の就業障害と異なった就業障害とみなし、新たに支払対象外期間および対象期間を適用します。 (注)支払対象外期間および対象期間については、協定書に特別の規定がある場合は、協定書の規定に従うこととします。 (注9)精神障害補償特約をセットした場合、精神障害補償特約による保険金のお支払いは、主契約の対象期間にかかわらず、支払対象外期間終了日の翌日から起算して2年を限度とします。	(注)精神障害補償特約がセットされた場合、気分障害(躁病、うつ病等)、統合失調症、神経衰弱等一部の精神障害を被り、これを原因として生じた就業障害はお支払いの対象となります(血管性認知症、知的障害、アルコール依存、薬物依存等はお支払いの対象とはなりません。)。また、お支払いは、対象期間にかかわらず、支払対象外期間終了日の翌日から起算して2年を限度とします。 (※1)「テロ行為」とは、政治的・社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行為をいいます。 (※2)「医学的他覚所見」とは、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査等により認められる異常所見をいいます。

(注)団体長期障害所得補償保険を複数ご契約なされた場合は、補償が重複することがあります。補償が重複すると、対象となる事故については、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金がお支払されない場合があります。ご加入にあたっては、補償内容の差異や保険金額をご確認いただき、補償の要否をご判断ください。
(※)他社のご契約を含みます。

その他ご注意いただきたいこと

<ご継続の場合も必ずご確認ください。>

●保険金額の設定について

保険金額は、ご加入直前12か月における所得の平均月間額の範囲内で、健康保険等の公的医療保険制度からの給付額等も考慮のうえ、適切な金額をお決めください。また、他の保険契約等^(※)にご加入の場合は、ご加入いただける金額を制限することがありますので、ご加入時にお申し出ください。

(※)「他の保険契約等」とは、団体長期障害所得補償保険、所得補償保険、積立所得補償保険等。この保険契約の全部または一部に対して支払責任が同じである他の保険契約または共済契約をいいます。

被保険者が加入している公的医療保険制度	ご加入直前12か月における所得の平均月間額に対する保険金額割合
国民健康保険(例:個人事業主)	85%以下
健康保険(例:給与所得者)	70%以下
共済組合(例:公務員)	70%以下

- 特定疾病等対象外について
- ・告知書で告知していた内容により、ご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。特別な条件付きでご加入いただく場合は、「特定疾病等対象外の条件」をセットすることにより、特定の疾病群について補償対象外とする条件付きでご加入いただけます。
- ※例えば、「[腰・脊椎の疾病]」の場合、告知書記載の疾病に関わらず、腰・脊椎の疾病はすべて補償の対象外となります。
- ・「特定疾病等対象外の条件」をセットされた条件でのご契約を継続される場合、継続契約においても、原則として「特定疾病等対象外の条件」がセットされます。
- ・ご継続時に補償対象外とする疾病群が完治してから1年以上経過している場合は、継続契約の保険始期から「特定疾病等対象外の条件」を削除できることがあります。ただし、被保険者の年齢や補償対象外とする疾病群によっては、「特定疾病等対象外の条件」を削除できないこともあります。また、保険期間の途中での削除はできません。
- (削除できない場合の例)
- 補償対象外とする疾病群が複数の場合
- 告知書「疾病・症状一覧表」のF群(腰・脊椎の疾病)が補償対象外となっている場合
- ・詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。
- 被保険者が就業障害になった場合、被保険者には、所得の喪失の発生および拡大を防止するため業務復帰に努めていただきます。損保ジャパンは、被保険者が就業障害の状態になった場合は、ご契約者または被保険者と、被保険者の業務復帰援助のために協議することがあります。損保ジャパンは、その協議の結果として被保険者の業務復帰のために有益な費用をお支払いします。

用語のご説明	
用語	用語の定義
身体障害	傷害(傷害の原因となった事故を含みます。)および疾病をあわせて身体障害をいいます。
傷害(ケガ)	急激かつ偶然な外来の事故によって被った身体の傷害をいい、この傷害には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収した場合に急激に生ずる中毒症状を含みます。ただし、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒は含みません。 ・「急激」とは、突発的に発生することであり、ケガの原因としての事故がゆるやかに発生するのではなく、原因となった事故から結果としてのケガまでの過程が直接的で時間的間隙のないことを意味します。 ・「偶然」とは、「原因の発生が偶然である」「結果の発生が偶然である」「原因・結果とも偶然である」のいずれかに該当する予知されない出来事をいいます。 ・「外来」とは、ケガの原因が被保険者の身体の外からの作用によることをいいます。 (注) 靴ずれ、車酔い、熱中症、しめやけ等は、「急激かつ偶然な外来の事故」に該当しません。
疾病(病気)	傷害以外の身体の障害をいいます。
身体障害を被った時	次の①または②のいずれかの時をいいます。 ①傷害については、傷害の原因となった事故発生の時。 ②疾病については、医師の診断による発病の時。ただし、先天性異常については、医師の診断により初めて発見された時。
就業障害	(支払対象外期間中の就業障害の定義) 身体障害により、被保険者の経歴、能力に応じたいかなる業務にも全く従事できないこと。 (対象期間中の就業障害の定義) 身体障害により、被保険者が身体障害発生直前に従事していた業務に全く従事できないか、または一部従事することができず、かつ所得喪失率が20%を超えていること。なお、被保険者が死亡した後は、いかなる場合であっても就業障害とはいいません。
所得	業務に従事することによって得られる給与所得、事業所得または雑所得に係る総収入金額から、就業障害となることにより支出を免れる金額を控除したものをいいます。ただし、就業障害の発生にかかわらず得られる収入は除かれます。
支払基礎所得額	保険金の算出の基礎となる所得の額をいい、被保険者の属する公的医療保険制度に於いて、平均月間所得額に対する一定割合内で設定していただきます。
平均月間所得額	就業障害が開始した日の属する月の直前12か月間の所得の平均月間額をいいます。ただし、就業障害が開始した日の属する月の直前12か月において産前・産後休業、育児休業または介護休業のいずれかの休業等を取得している期間があることによりその期間の被保険者の所得の平均月間額が減少している場合は、所定の被保険者の所得がある期間における平均月間額とします。
回復所得額	支払対象外期間開始以降に業務に復帰して得た所得の額をいいます。
支払対象外期間	就業障害が開始した日から起算して、継続して就業障害である協定書記載の期間(日数)をいい、この期間に対しては、保険金をお支払いしません。
対象期間	支払対象外期間終了日の翌日から起算する協定書記載の期間をいい、損保ジャパンが保険金を支払う期間は、この期間をもって限度とします。

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】

【傷害総合保険】

・保険者が、日本国内または国外において、急激かつ偶然な外来の事故（以下「事故」といいます。）によりケガ^{（注1）}（^{（注2）}）をされた場合等に、保険金をお支払いします。

（注1）仕事中毒補償プランの場合は就業中のみの危険補償特約がセットされておりますので、被保険者がその職業または義務に従事している間（通勤途上を含みます。）に被ったケガにかぎり、保険金をお支払いします。

（注2）身体外部から有毒物質または有害物質を偶然かつ一時に吸入、吸取した場合に急激に生ずる中毒症状を含みます。ただし、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒は含みません。特定感染症危険^{（注3）}後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金および非難費用保険金）補償特約が対象とならない特定感染症を原因とする食中毒にかぎり、同特約の内容に従いお支払いの対象となります。（特定感染症特約プランの場合）

・保険期間の開始時より前に発生した事故によるケガ・損害に対しては、保険金をお支払いできません。

「急激かつ偶然な外来の事故」について

■「急激」とは、突発的に発生することであり、ケガの原因としての事故がゆるやかに発生するのではなく、原因となった事故から結果としてのケガまでの過程が直接的で時間的間隔のないことを意味します。

■「偶然」とは、「原因の発生が偶然である」「結果の発生が偶然である」「原因・結果とも偶然である」のいずれかに該当する予知されない出来事をいいます。

■「外来」とは、ケガの原因が被保険者の身体の外からの作用によることをいいます。

（注）死すれ、車酔い、熱中症、しめやけ等は、「急激かつ偶然な外来の事故」に該当しません。

【基本補償】

保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いできない主な場合
死亡 保険金	事故によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合、死亡・後遺障害保険金の全額をお支払いします。ただし、すでに後遺障害保険金をお支払いしている場合は、その金額を差し引いてお支払いします。 死亡保険金の額＝死亡・後遺障害保険金額の全額	①故意または重大な過失 ②自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ③無資格運転、酒気帯りた状態での運転または麻薬等による正常な運転ができないおそれがある状態での運転 ④脳疾患、疫病または心神喪失 ⑤妊娠、出産、早産または流産 ⑥外科的手術その他の医療行為
後遺 障害 保険金	事故によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合、その程度に応じた死亡・後遺障害保険金額の4%～100%をお支払いします。ただし、お支払いする後遺障害保険金の額は、保険期間を満了し、死亡・後遺障害保険金額を限度とします。 後遺障害保険金の額＝死亡・後遺障害保険金額×後遺障害の程度に応じた割合(4%～100%)	⑦戦争、外国の武力行為、暴動（テロ行為^(※1)を除きます。）、核燃料物質等によるもの ⑧地震、噴火またはこれによる津波（天災危険補償特約をセレクトした場合） ⑨頸（けい）部症候群（いわゆる「むちうち症」）、腰痛等医学的見解所見^(※2)の、賠償等
入院 保険金	事故によりケガをされ、入院された場合、入院日数に対し1,000日を限度として、1日につき入院保険金日額をお支払いします。 入院保険金の額＝入院保険金日額×入院日数(1,000日限度)	⑩ピッケル等の登山用具を使用する山岳登山は、ロッククライミング（フリークライミングを含みます。）、登る壁の高さが5mを超えるボルダリング、航空機操縦（職務として操縦する場合を除きます。）、ハンググライダー（乗客等の危険な運動を行っている間の事故）
手術 保険金	事故によりケガをされ、手術の療養のために病院または診療所において、①または②のいずれかの手術を受けた場合、手術保険金をお支払いします。ただし、1事故につき1回の手術に限りです。なお、1事故につき2つのケガに対して、2以上の手術を受けたときは、それらの手術のうち、手術保険金の額が最も高いいずれか1つの手術についてのみお支払いします。 ①公的医療保険制度における医療診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている手術^(※1) ②先進医療に該当する手術^(※2)	⑪自動車、原動機付自転車等による競走、競争、興行（これに準ずるものおよび練習を含みます。）、の間の事故 など
	手術（重大手術^(※3)以外） ①入院中に受けた手術の場合＞手術保険金の額＝入院保険金日額×20（倍） ②外来で受けた手術の場合＞手術保険金の額＝入院保険金日額×5（倍）	⑫「テロ行為」とは、政治的・社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するもののがその主義・主張に關して行う暴力的行為をいいます。以下同様とします。
	重大手術^(※3) 手術保険金の額＝入院保険金日額×40（倍） [注] 重大手術を受けた場合は入院・外来を問わず、入院保険金日額の40倍の額を手術保険金としてお支払いします。 (※1) 以下の手術は対象とありません。 創傷処理、皮膚切開術、デブリドマン、骨または関節の非親血的または徒手的な整復術・整復固定術および授動術、抜歯手術 (※2) 先進医療に該当する手術は、治療を直接の目的としてメス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、導出等の処置を施すものにすぎます。 (※3) 重大手術とは以下の手術をいいます。 ①開頭手術（頭頸部を含みます。） ②開胸手術および開腹手術（胸臓腫、縦隔腫、腹腔腫を用いた手術を含みます。） ③四肢切断術（手・足・指を除きます。） ④日本国内で行われた、心臓・肺・肝臓・脾（すい）臓・腎（じん）臓（それぞれ、人工臓器を除きます。）の全体または一部を移植手術。ただし、臓器の移植に関する法律（平成9年法律第104号）に規定する移植手術にかぎります。	(※2) 「医学的見解所見」とは、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査等により認められる異常所見をいいます。以下同様とします。
通院 保険金	事故によりケガをされ、通院された場合、事故の発生の日からその日を含めて1,000日以内の通院日数に対し、90日を限度として、1日につき通院保険金日額をお支払いします。ただし、入院保険金をお支払いするべき期間中の通院に対しては、通院保険金をお支払いしません。 通院保険金の額＝通院保険金日額×通院日数（事故の発生の日から1,000日以内の90日限度） (注1) 通院されない場合であっても、骨折、脱臼、切傷損傷等のケガをされた部位（脊柱、肋骨、胸骨、長骨等）を固定するために医師の指示によりギプス等^(※)を常時装着したときはその日数について通院したものとしみます。 (※) ギプス、ギブスシーネ、ギブスシャーレ、シーネその他これらと同程度に固定することができるものをいいます。胸部固定帯、胸骨固定帯、肘固定帯、軟性コルセット、サポーター等を含みます。 (注2) 通院保険金の支払いを受ける期間中に新たに他のケガをされた場合であっても、重複して通院保険金をお支払いしません。	

傷害（国内外補償）

【特定感染症危険（後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金および葬祭費用保険金）補償特約】
 特定感染症^(※1)を発病し、その直接の結果として発病の日からその日を含めて180日以内に、所定の後遺障害が生じた場合、入院した場合、通院した場合に、後遺障害保険金、入院保険金（180日限度）、通院保険金（180日以内の90日限度）をお支払いします。また、発病の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合に、被保険者の親族等が負担された葬祭費用（実費）に対し、300万円を限度として葬祭費用保険金をお支払いします。ご加入初年度の場合は、保険期間の開始日からその日を含めて10日以内に発病した特定感染症に対しては、保険金をお支払いできません。

(※1) 「特定感染症」とは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定する一類感染症、二類感染症、三類感染症または新型コロナウイルス感染症^(※2)をいいます。2022年2月現在、結核、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるもの）にかぎります。）、腸管出血性大腸菌感染症（O-157を含みます。）、等が該当します。

(※2) 新型コロナウイルス感染症は、病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたもの）にかぎります。）、であるものにかぎります。）、

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】（続き）

【オプション補償】

保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合		保険金をお支払いできない主な場合
	被保険者が、保険期間中の原因事故によって発生した以下1から5までのいずれかに該当するトラブル^(※1)について、弁護士との法律相談または委任を行った場合は、それによって、事前に損保ジャパンの同意を得て、保険期間中に法律相談費用または弁護士委任費用を負担することにより被った損害に対して、法律相談費用保険金または弁護士委任費用保険金をお支払いします。ただし、以下1・2・⑤のトラブルの場合は、被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が被った原因事故に関するトラブルについても対象となります。 なお、1・5のトラブルに該当する場合において、補償の対象となる原因事故によって被保険者が死亡したときは、保険金を請求する権利を有するのは法定相続人となります。 1 被害事故に関するトラブル ケガを負われた、財物を壊された、盗難または詐欺にあった等^(※2)の被害を被ったことによるトラブルをいいます。 2 借地または借家に関するトラブル 賃借している土地、建物における地代、賃料、敷金、礼金、契約期間等の賃貸借契約における地主または家主とのトラブルをいいます。ただし、被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子からの不当な申立てによる賃貸借契約の条件交渉（賃貸借契約の更新に際しての条件交渉を含みます。）に関するトラブルを含みません。 3 離婚調停に関するトラブル 被保険者または配偶者が婚姻関係を解消するための調停等のトラブルをいいます。ただし、被保険者本人が負担した、調停等に要した費用のみ対象となります。なお、法律上の婚姻関係の解消にかぎり協議離婚によるものを含みません。 〔注1〕原因事故が初年度契約の保険期間の開始日からその日を含めて90日を経過する日まで間に発生した場合は、保険金をお支払いしません。 〔注2〕保険金の請求は、調停等申し立て時以降にかぎり可能となります。 4 遺産分割調停に関するトラブル 被保険者その他の相続人との間の遺産分割または遺留分の没収請求^(※3)における調停等のトラブルをいいます。ただし、被保険者本人が負担した、調停等に要した費用のみ対象となります。なお、相続放棄、限定承認、遺産分割協議書の作成および不動産の名義変更に関する費用を含みません。 〔注〕保険金の請求は、調停等申し立て時以降にかぎり可能となります。 5 人格権侵害に関するトラブル 不当な身体の拘束による自由の侵害、名誉き損、プライバシーの侵害、痴漢、スローカー行為、いじめまたは嫌がらせにより、精神的苦痛を被ったことに関するトラブルをいいます。 〔注1〕警察等の公的機関または学校等の相談窓口等への届出等をし、その事実を客観的に証明できるトラブルにかぎりします。 〔注2〕原因事故が初年度契約の保険期間の開始日からその日を含めて90日を経過する日まで間に発生したことによるトラブルに対しては、保険金をお支払いしません。		【全日本に共通の事由】 ①故意、重大な過失または契約違反 ②自殺行為^(※)、犯罪行為または闘争行為 ③麻薬、大麻、あへん、覚せい剤またはシンナー等の使用 ④戦争、外国の武力行使、暴動（テロ行為を除きます）、核燃料物質等による放射線 ⑤地震、噴火またはこれによる津波 ⑥国または公共団体の強制執行または即時強制 ⑦財物の欠陥、自然の消滅または性質によるさび、かび、変色、ねずみ食い、虫食い等。ただし、これにより身体への障害または他の財物の損壊が発生している場合は除きます。 ⑧被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子の職務遂行に関するトラブルおよび職種におけるいじめもしくは嫌がらせによる精神的苦痛に関するトラブル ⑨主として被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子の職務のために使用される動産または不動産の所有、使用または管理に起因する事由 ⑩債務整理および金銭消費貸借契約に関するトラブル（通称公金の返還請求に関するトラブルを含みます）。ただし、詐欺による被害事故に関するトラブルを除きます。 ⑪保険契約または共済契約に関する事由。ただし、相続財産としての保険契約または共済契約の遺産分割調停に関するトラブルを除きます。 など 〔※〕この保険契約で保険金の支払対象とならざる原因事故によって自殺し、かつ、支払金を満了することが明らかな場合を除きます。
弁護士費用 （日本国内の法に基づき解決するトラブルが対象）	法律相談費用保険金	お支払いする保険金の額	【トラブル固有の事由】 ①該当する場合 ②自動車等の所有、使用もしくは搭載または管理に起因して発生した、被保険者または被保険者を親権者とする未成年の子が被った被害事故に関するトラブル ③医師等が行う診療、診察、検査、診断、治療、看護または疾病の予防 ④あんま、マッサージ、指圧、鍼、灸または柔道整復等 ⑤薬師等による医薬品等の調剤、調整、鑑定、販売、授けまたはこれらの指示 ⑥身体的美容または整形 1・2・⑤に該当する場合 ⑦被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子とその親族との間で発生した事由 1・5・⑤に該当する場合 ⑧環境汚染 ⑨環境特性に起因する事由 ⑩騒音、振動、悪臭、日照不足等 ⑪電磁波障害 3に該当する場合 ⑫被保険者の行為に起因して発生したことが明らかに認められる離婚調停に関するトラブル
	弁護士委任費用保険金	法律相談費用保険金の額＝損害額－自己負担額 1,000円 弁護士委任費用保険金の額＝損害額×（100%－自己負担割合10%）	

補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】(続き)

保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いできない主な場合
賠償責任 国内外補償	日本国内または国外において、被保険者 ^(※1) が次の①から④までのいずれかの事由により法律上の損害賠償責任を負った場合に、損害賠償金および費用(訴訟費用等)の合計金額をお支払いします(自己負担額はありません。)。ただし、1回の事故につき損害賠償金は個人賠償責任の保険金額を限度とします。なお、賠償金額の決定には、事前に損保ジャパンへの承認を必要とします。	①故意 ②戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為を除きます。)、核燃料物質等による損害 ③地震、噴火またはこれらによる津波 ④被保険者の職務の遂行に直接起因する損害賠償責任 ⑤被保険者およびその被保険者と同属する親族に対する損害賠償責任 ⑥受託品を除き、被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊について、その財物について正当な権利を有する方に対して負担する損害賠償責任 ⑦心神喪失に起因する損害賠償責任 ⑧被保険者または被保険者の指図による暴行または殴打に起因する損害賠償責任 ⑨航空機、船舶および自動車・原動機付自転車等の車両 ^(※1) 、銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任 ⑩環境汚染に起因する損害賠償責任 ⑪受託品に対して正当な権利を有していない者に対して損害賠償責任を負担することによって被った損害 ⑫受託品の損壊または盗取について、次の事由により生じた損害 ・被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ・差し押入、収用、没収、破壊等国または公共団体の公権力の行使 ・自然の消耗または劣化、変色、さび、かび、ひび割れ、虫食い ・偶然な外来の事故に直接起因しない電気の事故または機械的故障 ・置き忘れ ^(※2) または紛失 ・詐欺または横領 ・雨、雪、雹(ひょう)、みぞれ、あられまたは融雪水の浸み込みまたは吹き込み ・受託品が委託者に引き渡された後に発見された受託品の損壊または盗取
	① 住宅の所有・使用・管理に起因する偶然な事故により、他人にケガなどをさせた場合や他人の財物を壊した場合 ② 被保険者 ^(※1) の日常生活(住宅以外の不動産の所有、使用または管理を除きます。に)起因する偶然な事故(例：自転車運転中の事故など)により、他人にケガなどをさせた場合や他人の財物を壊した場合 ③ 日本国内で受託した財物(受託品) ^(※2) を壊したり盗まれた場合 ④ 誤って線路に立ち入ったことなどにより電車等 ^(※3) を運行不能にさせた場合 (※1) この特約における被保険者は次のとおりです。 ア、本人 イ、本人の配偶者 ウ、本人またはその配偶者の同居の親族 エ、本人またはその配偶者の別居の未婚の子 オ、本人が未成年者または責任無能力者の場合、親権者、その他の法定の監督義務者および監督義務者に代わって本人を監督する方(本人の親族にかぎりません。)。ただし、本人に関する事故にかぎりません。 カ、イ、からエ、までのいずれかの方が責任無能力者の場合、親権者、その他の法定の監督義務者および監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(その責任無能力者の親族にかぎりません。)。ただし、その責任無能力者に関する事故にかぎりません。 なお、被保険者本人またはその配偶者との続柄および同居または別居の別は、損害の原因となった事故発生時におけるものをいいます。 (※2) 次のものは「受託品」に含まれません。 ・携帯電話・スマートフォン等の携帯式通信機器、ノート型パソコン等の携帯式電子事務機器およびこれらの付属品 ・コンタクトレンズ、眼鏡、サングラス、補聴器 ・義歯、義肢その他これらに準ずる物 ・動物、植物 ・自転車、ハンググライダー、パラグライダー、サーフボード、ウインドサーフィン、ラジコン模型およびこれらの付属品 ・船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)、航空機、自動車(ゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。)、バイク、原動機付自転車、雪上オートバイ、ゴーカートおよびこれらの付属品 ・通貨、預貯金証書、株券、手形その他の有価証券、印紙、切手、設計書、帳簿 ・貴金属、宝石、書画、骨とう、彫刻、美術品 ・クレジットカード、ローンカード、プリペイドカードその他これらに準ずる物 ・ドローンその他の無人航空機および模型航空機ならびにこれらの付属品 ・山岳登山、ロッククライミング(フリークライミングを含みます。)、登る壁の高さが5mを超えるボルダリング等の危険な運動等を行っている間のその運動等のための用具 ・データやプログラム等の無体物 ・漁具 ・1個もしくは1組または1対で100万円を超える物 (※3)「電車等」とは、汽車、電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用車をいいます。	① 故意 ② 戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為を除きます。)、核燃料物質等による損害 ③ 地震、噴火またはこれらによる津波 ④ 被保険者の職務の遂行に直接起因する損害賠償責任 ⑤ 被保険者およびその被保険者と同属する親族に対する損害賠償責任 ⑥ 受託品を除き、被保険者が所有、使用または管理する財物の損壊について、その財物について正当な権利を有する方に対して負担する損害賠償責任 ⑦ 心神喪失に起因する損害賠償責任 ⑧ 被保険者または被保険者の指図による暴行または殴打に起因する損害賠償責任 ⑨ 航空機、船舶および自動車・原動機付自転車等の車両 ^(※1) 、銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任 ⑩ 環境汚染に起因する損害賠償責任 ⑪ 受託品に対して正当な権利を有していない者に対して損害賠償責任を負担することによって被った損害 ⑫ 受託品の損壊または盗取について、次の事由により生じた損害 ・被保険者の自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ・差し押入、収用、没収、破壊等国または公共団体の公権力の行使 ・自然の消耗または劣化、変色、さび、かび、ひび割れ、虫食い ・偶然な外来の事故に直接起因しない電気の事故または機械的故障 ・置き忘れ ^(※2) または紛失 ・詐欺または横領 ・雨、雪、雹(ひょう)、みぞれ、あられまたは融雪水の浸み込みまたは吹き込み ・受託品が委託者に引き渡された後に発見された受託品の損壊または盗取 (※1) 次のア、からウ、までのいずれかに該当するものを除きます。 ア、主たる原動力が人力であるもの イ、ゴルフ場敷地内におけるゴルフカート ウ、身体障がい者用車いすおよび歩行補助車で、原動機を用いるもの (※2) 保険の対象を置いた状態でその事実または置いた場所を忘れることをいいます。

(注) 補償内容が同様のご契約^(※1)が他にある場合は、補償が重複することがあります。補償が重複すると、対象となる事故については、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金が支払われない場合があります。ご加入にあたっては、補償内容の差異や保険金額をご確認いただき、補償・特約の要否をご判断ください^(※2)。

(※1) 傷害保険の他、火災保険や自動車保険などにセットされる特約や他社のご契約を含みます。

(※2) 1契約のみに補償・特約をセットした場合、ご契約を解約したときや、家族状況の変化(同居から別居への変更等)により被保険者が補償の対象外になったときなどは、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。

用語のご説明

用語	用語の定義											
原因事故	法律相談または弁護士委任に至るトラブルの原因となった偶然な事故または事由をいいます。原因事故の発生時は、それぞれのトラブルごとに以下の時をいいます。											
	<table border="1"> <tr> <th>トラブルの種類</th><th>原因事故の発生の時</th></tr> <tr> <td>1.被害事故に関するトラブル</td><td>被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が被害を被った時</td></tr> <tr> <td>2.借地または借家に関するトラブル</td><td>被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が賃借人となる賃貸借契約における地代・賃料・敷金等に関する事由が発生した時(通知を受けることによってトラブルの発生を知った時は、初めてその通知を受領した時)</td></tr> <tr> <td>3.離婚調停に関するトラブル</td><td>被保険者が配偶者に離婚の意思を伝えた時または配偶者からその意思を伝えられた時</td></tr> <tr> <td>4.遺産分割調停に関するトラブル</td><td>被保険者の被相続人が死亡した時</td></tr> <tr> <td>5.人格権侵害に関するトラブル</td><td>被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が精神的苦痛を初めて被った時</td></tr> </table>	トラブルの種類	原因事故の発生の時	1.被害事故に関するトラブル	被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が被害を被った時	2.借地または借家に関するトラブル	被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が賃借人となる賃貸借契約における地代・賃料・敷金等に関する事由が発生した時(通知を受けることによってトラブルの発生を知った時は、初めてその通知を受領した時)	3.離婚調停に関するトラブル	被保険者が配偶者に離婚の意思を伝えた時または配偶者からその意思を伝えられた時	4.遺産分割調停に関するトラブル	被保険者の被相続人が死亡した時	5.人格権侵害に関するトラブル
トラブルの種類	原因事故の発生の時											
1.被害事故に関するトラブル	被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が被害を被った時											
2.借地または借家に関するトラブル	被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が賃借人となる賃貸借契約における地代・賃料・敷金等に関する事由が発生した時(通知を受けることによってトラブルの発生を知った時は、初めてその通知を受領した時)											
3.離婚調停に関するトラブル	被保険者が配偶者に離婚の意思を伝えた時または配偶者からその意思を伝えられた時											
4.遺産分割調停に関するトラブル	被保険者の被相続人が死亡した時											
5.人格権侵害に関するトラブル	被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が精神的苦痛を初めて被った時											
財物	被保険者または被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子が所有、使用または管理する財産的価値を有する有体物(通貨、預貯金証書、株券、手形その他の有価証券、印紙、切手その他これらに準ずるものを含みます。をいい、データ、ソフトウェア、プログラム等の無体物のほか、著作権、特許権、商号権、漁業権、営業権その他これらに類する権利等の財産権を含みません。											
財物の損壊	財物の滅失、汚損または損傷をいいます。											
調停等	調停、審判、抗告または訴訟をいいます。ただし、日本国内で申し立てられた、または提起された場合にかぎりません。											
被保険者を親権者とする未成年かつ未婚の子	被保険者が親権を有する、未成年かつ未婚の子をいいます。なお、被保険者との続柄は、原因事故発生時におけるものをいいます。											
弁護士	弁護士法(昭和24年法律第205号)の規定により、日本弁護士連合会に備えた弁護士名簿に登録された者をいいます。なお、被保険者が弁護士の場合は、被保険者以外の弁護士をいいます。											
法律相談	弁護士法(昭和24年法律第205号)第3条(弁護士の職務)に規定する「その他一般の法律事務」に基づく法律相談をいいます。ただし、口頭による鑑定、電話による相談またはこれらに付随する手紙等の書面の作成もしくは連絡等を含みます。											
保険金請求権者	弁護士費用補償においては、トラブルの当事者である被保険者をいいます。ただし、被害事故に関するトラブルまたは人格権侵害に関するトラブルにおける原因事故によって被保険者が死亡した場合は、その法定相続人として、法律上の損害賠償請求に関する法律相談または弁護士委任を行う者を含みます。											
配偶者	婚姻の相手方をいい、内縁の相手方 ^(※1) および同性パートナー ^(※2) を含みます。 (※1) 内縁の相手方とは、婚姻の届出をしていないために、法律上の夫婦と認められないものの、事実上婚姻関係と同様の事情にある方をいいます。 (※2) 同性パートナーとは、戸籍上の性別が同一であるために、法律上の夫婦と認められないものの、婚姻関係と異ならない程度の実質を備える状態にある方をいいます。 (注) 内縁の相手方および同性パートナーは、婚姻の意思(同性パートナーの場合は、パートナー関係を将来にわたり継続する意思)をもち、同居により婚姻関係に準じた生活を営んでいる場合にかぎり、配偶者に含みます。											
親族	6親等内の血族、配偶者または3親等内の姻族をいいます。											
先進医療	病院等において行われる医療行為のうち、一定の施設基準を満たした病院等が厚生労働省への届出により行う高度な医療技術をいいます。対象となる先進医療の種類については、保険期間中に変更となることがあります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。 (https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensinryo/kan.html)											
治療	医師が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。ただし、被保険者が医師である場合は、被保険者以外の医師による治療をいいます。											
通院	病院もしくは診療所に通い、または往診により、治療を受けることをいいます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。											
入院	自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。											
未婚	これまでに婚姻歴がないことをいいます。											
免責金額	支払保険金の算出にあたり、損害の額から控除する自己負担額をいいます。											

1. クーリングオフ
この保険は団体契約であり、クーリングオフの対象とはなりません。

2. ご加入時における注意事項（告知義務等）
【新・団体医療保険】

- ご加入の際は、加入依頼書・告知書の記載内容に間違いがないか十分ご確認ください。
- 加入依頼書・告知書にご記入いただく内容は、損保ジャパンが公平な引当判断を行ううえで重要な事項となります。
- ご契約者または被保険者には、告知事項[※]について、事実を正確にご回答いただく義務（告知義務）があります。

（※）「告知事項」とは、危険に関する重要な事項のうち、加入依頼書・告知書の記載事項等によって損保ジャパンが告知を求めたものをいいます。他の保険契約等に関する事項を含みます。

●ご加入初年度の保険期間の開始時⁽¹⁶⁾からその日を含めて1年以内に過去の病歴が、現在の健康状態等について損保ジャパンに告知していた内容が不正確であることが判明した場合は、「告知義務違反」としてご契約が解除となることがあります。また、ご加入初年度の保険期間の開始時⁽¹⁶⁾からその日を含めて1年を経過してより、ご加入初年度の保険期間の開始時⁽¹⁶⁾からその日を含めて1年以内に「保険金の支払事由」が発生していた場合は、ご契約が解除になることがあります。

● 次の場合にも、保険金をお支払いできないことがあります。この場合、ご加入初年度の保険期間の開始時からの経過年数は問いません。

- ・ご契約者が保険金を不法に取得する目的または第三者に保険金を不法に取得させる目的をもって契約した場合
- ・ご契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の詐欺または強迫等により損保ジャパンが契約した場合

●継続加入の場合において、保険金額の増額等補償を拡大するときも、過去の傷病歴、現在の健康状態等について告知していただく必要があります。告知していない内容により、特別な条件付きで加入した場合は、補償を拡大した部分だけでなく、すでに加入していたい部分も、特別な条件付きで加入した部分とみなす場合があります。

病であっても、ご加入初年度の保険期間の開始時^(※1)からその日を含めて1年を経過した後に保険金の支払事由（入院を開始された場合や手術を受けられた場合等）が生じた場合は、そのご加入したくく保険金の支払事由に対しては保険金をお支払いします。

(注1) 特別な条件付（「特定疾病等対象外特約」セット）でご加入いただいた場合は、上記に関わらず、補償対象外とする疾病群については、

【がん保険】

●ご加入初年度の保険期間の開始日からその日を含めて90日以内にがんと診断確定された場合は、被保険者ごとの事実を知っているまたは知らなくともにかかわらず、がん保険特約、がん診断保険金支払特約、がん外来治療保険金支払特約、三大疾病診断保険金支払特約のいずれかによる支払事由は効く（これらの特約すべてが効く）が、ご加入時から生じたがんかつたものではなく、**再発したことをいいます。**）となります。この場合において、告知前日に契約者または被保険者がその事実を知っているときは、すでにその支払いたった保険料を返還します。ただし、ご加入初年度の保険期間の開始日からその日を含めて91日目から5年が経過し、その期間内に被保険者ががんと診断確定された場合とは、この「再発」の規定を適用しません。

●がんと診断確定された時が、ご加入初年度の保険期間の開始日からその日を含めて90日を経過する日以前である場合は、保険金をお支払いできません。また、一部の保険特約について保険金お支払いの対象外とする条件（特定疾病等対象外特約）をセレクトでのご加入の場合、その疾病群およびその疾

●加入依頼書・告知書にご記入いただく内容は、損保ジャパンが公平な受入判断を行ううえで重要な事項となります。

ご契約者または被保険者には、告知事項^(※)について、事実を正確にご回答いただく義務（告知義務）があります。

（※）「告知事項」とは、危険に関する重要な事項のうち、加入依頼書・告知書の記載事項とすることによって損保ジャパンが告知を求めたものをいいます。他の保険契約等に関する事項を含みません。

※口頭でお話し、または資料提示されただけでは、告知していただいたことにはなりません。

※告知事項について、事実を記入されなかった場合または事実と異なることを記入された場合は、ご契約を解除することや、保険金をお支払いできないことがあります。

※損保ジャパンまたは取扱代理店は告知受領権を有しています。

・「告知義務違反」によりご契約が解除になった場合、「保険金の支払事由」が発生しているときであっても、保険金をお支払いできません。ただし、「保険金の支払事由」と「解除原因となった事実」に因果関係がない場合は、保険金をお支払いします。

● 次の場合にも、保険金をお支払いできないことがあります。この場合、ご加入初年度の保険期間の開始時からの経過年数は問いません。

- ・ご契約者が保険金を不法に取得する目的または第三者に保険金を不法に取得させる目的をもって契約した場合
- ・ご契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の詐欺または強迫によって契約（ジャンパ）が契約した場合

ご契約のお引渡について、告知していただいた内容により、下記①から③までのいずれかの取扱いとなります。

- ①特別な条件を付けずにご加入いただけます。
- ②特別な条件付きでご加入いただけます（「特定の疾病群について補償対象外とする条件付き（特定疾病等対象外の条件」をセレクト）」でご加入いただけます。）
- ③今回はご加入いただけません。

●ご加入後や保険金のご請求の際に、告知内容について確認することがあります。

- ※継続加入の場合において、保険金額の増額等補償を拡大するときも、過去の傷病歴、現在の健康状態等について告知していただく必要があります。
- ※告知した内容により、特別な条件付きでご加入いただける場合は、補償拡大した部分だけでなく、すでに告知に入っていない部分も、特別な条件付きでのご加入となります。すなわち、事実を告知しなかったと、または事実と異なることを告知されたときは、補償を拡大した部分について、断絶することや、保険金をお支払いできないことがあります。

●ご加入初年度の保険期間の開始時（※1）より前に発病（※2）した疾病・発症した事故による傷害を原因とする就業不能（※3）の発生日または就業障害（保険金の支払事由）に対しては、正しく告知してご加入された場合であっても、保険金をお支払いできません。ただし、ご加入初年度の保険期間の開始時（※1）からその旨を含めて1年を経過した後に発症した（保険金の支払事由）または就業障害（保険金の支払事由）が生じた場合は、その就業不能（保険金の支払事由）または就業障害（保険金の支払事由）についてはお支払いの対象となる場合があります。

- （※1）継続時または新たに補償を拡大する特約を追加された場合は、追加された特約についてはそのセレクトした日をいいます。
- （※2）医師の診断による発症の時をいいます。ただし、その疾病の原因として医学上重要な関係がある疾病が存在する場合は、その医学上重要な関係がある疾病の発症の時をいいます。また、先天性異常については、医師の診断により初めて発見された時をいいます。
- （注）特別な条件付き（「特定疾病等対象外の条件」をセレクト）でご加入いただく場合は、上記に該当する、補償対象外となる疾病群について

告知事項>この保険における告知事項は、次のとおりです。

- ★被保険者の職業または職務
- ★他の保険契約等^(※)の加入状況

(※)【他の保険契約等】とは、傷害総合保険、普通傷害保険、家族傷害保険、交通事故傷害保険、ファミリー交通傷害保険、積立傷害保険等、この保険契約の全部または一部に対して支払責任が同じである他の保険契約または共済契約をいいます。

【**弁護士費用総合補償特約**】

- ご加入の際は、加入依頼書等の記載内容に間違いがないか十分ご確認ください。
- 加入依頼書等にご記入いただく内容は、損保ジャパンが公平な引受判断を行ううえで重要な事項となります。
- 契約者または被保険者には、告知事項^(※)について、事実を正確にご回答いただく義務（告知義務）があります。

（※）告知事項とは、危険に關する重要な事項のうち、加入依頼書等の記載事項とすることによって損保ジャパンが告知を求めたものをいいます。他の保険契約等に関する事項は含まれません。

★他の保険契約等^(*)の加入状況

●加入後における留意事項
 [所得補償保険：団体長期障害所得補償保険]
 ●加入依頼書等記載の職または職務を変更された場合（職または職務を
 やめられた場合を含みます）は、ご契約者または被保険者には、遅滞なく
 取扱代理店または損保ジャパンまでご通知いただく義務（通知義務）が
 あります。

直前12月における被保険者の所得の平均月間額が著しく減少した場合は、取扱代理店または健保センターまでご連絡ください。保険金額の設定の見直しについてご相談ください。

●次の場合、お支払いする保険金が減額されることがあります。

- ①他の身体障害（病気またはけが）の影響等があった場合
- ②職業を変更された場合の通知と、それに伴う追加保険料のお支払いがなかった場合
- ③加入年齢等にご記入した年齢に誤りがあり、追加保険料のお支払いが必要となる場合
- ④ご家族の年齢等にご記入した年齢に誤りがある場合

変更前と変更後の職業または職務に対して適用される保険料に差額が生じる場合は、所定の計算により算出した額を返還または請求します。追加保険料のお支払いがなかった場合や通知がなかった場合は、ご契約を解除することや、保険金を削減してお支払いすることがあります。

傷害総合保険では、下欄記載の職業については、お引受けの対象外となります。そのため、上記にかかわらず、職業または職務の変更が生じた場合は、

これらの職業に就かれた場合は、ご契約を解除しますので、あらかじめご了承ください。ご契約が解除になった場合、「保険金の支払事由」が発生しているときであっても、変更の事実が生じた後に発生した事故によるケガに対しては、保険金をお支払いできません。

プロボクサー、プロレスラー、ローラーゲーム選手（レフリーを含みます。）、力士その他これらと同程度またはそれ以上の危険を有する職業

●ご加入内容の変更を希望される場合は、あらかじめ取扱代理店または損保ジャパンまでご通知ください。また、ご加入内容の変更に伴い保険料が変更となる場合は、所定の計算により算出した額を返還または請求します。

【新・団体医療保険・傷害総合保険】
 <他の身体障害または疾病の影響>
 ●保険金のお支払いの対象となっていないケガや後遺障害、病気の影響で、保険金をお支払いするケガまたは病気等の程度が重くなったときは、それらの影響がなかったものと、ご保険金をお支払いします。

●加入依頼書等記載の住所または通知先を変更された場合は、遅滞なく取扱代理店または損保ジャパンまでご連絡ください。

●団体が撤退される場合は、必ずご加入の窓口にお申し出ください。

<被保険者による解除請求（被保険者離脱制度）について>

被保険者には、この保険契約（その被保険者に係る部分）にかぎらず、を解除することとを求めるところがありません。お手持ち方箋等にのりつけ、取扱代理店

●保険金の請求状況や被保険者のご年齢等によっては、ご継続をお断りすることや、ご継続の際に補償内容を変更させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

●保険金を支払わせる目的で損害等を生じさせた場合や保険契約者、被保険者または保険金受取人が暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められた場合などは、ご契約を解除することや、保険金をお支払いできない場合があります。

いできないことがあります。

ご加入に際して、特にご注意いただきたいこと(注意喚起情報のご説明)(続き)

4. 責任開始期

●保険責任は保険期間初日の午後4時に始まります。
*中途加入の場合は、毎月20日までの受付分は受付日の翌月1日(20日過ぎの受付分は翌々月1日)に保険責任が始まります。

【がん保険】

●がん保険特約、がん診断保険金支払特約、がん外来治療保険金支払特約、三大疾病診断保険金支払特約のがんによる支払事由等については、ご加入初年度の保険期間の開始日(中途加入の場合は中途加入日)からその日を含めて90日を経過した日の翌日に責任開始期が始まります。

【弁護士費用総合補償特約】

●離婚調停に関するトラブルおよび人格権侵害に関するトラブルについては、ご加入初年度の保険期間の開始日(中途加入の場合は中途加入日)からその日を含めて90日を経過する日の翌日から保険責任が始まります。

5. 事故がおきた場合の取扱い

【新・団体医療保険】

●保険金支払事由に該当した場合は、ただちに損保ジャパンまたは取扱代理店までご連絡ください。事故の発生日(疾病の場合は、入院を開始した日あるいは手術を受けた日)、がん診断確定された日からその日を含めて30日以内に ご請求 がない場合は、保険金の全額または一部をお支払いできないことがあります。

●保険金のご請求にあたっては、次ページに掲げる書類のうち、損保ジャパンが求めるものを提出してください。

必要となる書類	必要書類の例
① 保険金請求書および保険金請求権者が確認できる書類	保険金請求書、戸籍謄本、印鑑証明書、委任状、代理請求申請書、住民票 など
② 事故日時・事故原因および事故状況等が確認できる書類	傷害状況報告書、疾病状況報告書、事故証明書、メーカーや修理業者等からの原因調査報告書 など
③ 傷害または疾病の程度、保険の対象の価額、損害の額、損害の程度および損害の範囲、復旧の程度等が確認できる書類	①被保険者の身体の傷害または疾病に関する事故、他人の身体の障害に関する賠償請求の場合 死亡診断書(写)、死体検案書(写)、診断書、診療報酬明細書、入院退院申告書、治療費領収書、診察券(写)、運転免許証(写)、レントゲン(写)、所得を証明する書類、休業損害証明書、源泉徴収票、災害補償規定、補償金受領書 など ②携行品等に関する事故、他人の財物の損壊に関する賠償請求の場合 修理見積書、写真、領収書、図面(写)、被害品明細書、質貸借契約書(写)、売上高等営業状況を示す帳簿(写) など
④ 保険の対象であることが確認できる書類	売買契約書(写)、保証書 など
⑤ 公の機関や関係先等への調査のために必要な書類	同意書 など
⑥ 被保険者が損害賠償責任を負担することが確認できる書類	示談書 ^(※) 、判決書(写)、調停調書(写)、和解調書(写)、相手の方からの領収書、承諾書 など
⑦ 損保ジャパンが支払うべき保険金の額を算出するための書類	他の保険契約等の保険金支払内容を記載した支払内訳書 など

(※) 保険金は、原則として被保険者から相手の方へ賠償金を支払った後にお支払いします。

(注1) 保険金支払事由の内容・程度等に応じ、上記以外の書類もしくは証拠の提出または調査等に協力いただくことがあります。
(注2) 被保険者に保険金を請求できない事情がある場合は、ご親族のうち損保ジャパン所定の条件を満たす方が、代理人として保険金を請求できることがあります。

●上記の書類をご提出いただく等、所定の手続きが完了した日からその日を含めて30日以内に、損保ジャパンが保険金をお支払いするために必要な事項の確認を終え、保険金をお支払いします。ただし、特別な照会または調査等が不可欠な場合は、損保ジャパンは確認が必要な事項およびその確認を終えるべき時期を通知し、お支払いまでの期間を延長することがあります。詳しい内容につきましては、損保ジャパンまでお問い合わせください。

●病気やケガをされた場合等は、この保険以外の保険でお支払いの対象となる可能性があります。また、ご家族の方が加入している保険がお支払対象となる場合もあります。損保ジャパン・他社を問わず、ご加入の保険証券等をご確認ください。

【疾病保険特約】

●初年度加入および継続加入の保険期間を通算して1,000日分の保険金をお支払いした場合、満期時に継続をお祈りすることがあります。

【所得補償保険・団体長期障害所得補償保険】

●保険金支払事由に該当した場合(就業不能または就業障害が発生した場合等)は、ただちに損保ジャパンまたは取扱代理店までご連絡ください。保険金支払事由に該当した日(就業不能期間または就業障害期間が開始した日等)からその日を含めて30日以内に ご通知 がない場合は、保険金の全額または一部をお支払いできないことがあります。

●保険金のご請求にあたっては、次に掲げる書類のうち、損保ジャパンが求めるものを提出してください。

必要となる書類	必要書類の例
① 保険金請求書および保険金請求権者が確認できる書類	保険金請求書、印鑑証明書、戸籍謄本、委任状、代理請求申請書、住民票 など
② 事故日時・事故原因および事故状況等が確認できる書類	傷害状況報告書、就業不能または就業障害状況報告書、事故証明書、メーカーや修理業者等からの原因調査報告書 など
③ 身体障害の内容、就業不能または就業障害の状況および程度、損害の額、損害の程度および損害の範囲等が確認できる書類	①被保険者の身体の傷害または疾病に関する事故、他人の身体の障害に関する賠償請求の場合 死亡診断書(写)、死体検案書(写)、診断書、診療報酬明細書、入院退院申告書、治療費領収書、診察券(写)、運転免許証(写)、レントゲン(写)、所得を証明する書類、休業損害証明書、源泉徴収票、災害補償規定、補償金受領書 など ②他人の財物の損壊に関する賠償請求の場合 修理見積書、写真、領収書、図面(写)、被害品明細書 など
④ 公の機関や関係先等への調査のために必要な書類	同意書 など
⑤ 被保険者が損害賠償責任を負担することが確認できる書類	示談書 ^(※) 、判決書(写)、調停調書(写)、和解調書(写)、相手の方からの領収書、承諾書 など
⑥ 損保ジャパンが支払うべき保険金の額を算出するための書類	他の保険契約等の保険金支払内容を記載した支払内訳書 など

(※) 保険金は、原則として被保険者から相手の方へ賠償金を支払った後にお支払いします。

(注1) 就業不能期間または就業障害期間が1か月以上継続する場合は、お申し出によって、1か月以上の月単位より保険金の内払を行います。その場合、上記の書類のほか、就業不能または就業障害が継続していることを証明する書類を提出してください。

(注2) 身体障害の内容ならびに就業不能または就業障害の状況および程度等に応じ、上記以外の書類もしくは証拠の提出または調査等に協力いただくことがあります。

(注3) 被保険者に保険金を請求できない事情がある場合は、ご親族のうち損保ジャパン所定の条件を満たす方が、代理人として保険金を請求できることがあります。

●上記の書類をご提出いただく等、所定の手続きが完了した日からその日を含めて30日以内に、損保ジャパンが保険金をお支払いするために必要な事項の確認を終え、保険金をお支払いします。ただし、特別な照会または調査等が不可欠な場合は、損保ジャパンは確認が必要な事項およびその確認を終えるべき時期を通知し、お支払いまでの期間を延長することがあります。詳しい内容につきましては、損保ジャパンまでお問い合わせください。

●病気やケガをされた場合等は、この保険以外の保険でお支払いの対象となる可能性があります。また、ご家族の方が加入している保険がお支払対象となる場合もあります。損保ジャパン・他社を問わず、ご加入の保険証券等をご確認ください。

●保険金のご請求にあたっては、身体障害に対する医師(被保険者が医師の場合は被保険者以外の医師)の治療を受けている必要があります。

【所得補償保険】

●初年度加入および継続加入の保険期間を通算して1,000日分の保険金をお支払いした場合、継続加入をお祈りすることがあります。

【団体長期障害所得補償保険】

●保険金をお支払いする就業障害が発生した場合、お支払いの内容等により、継続加入をお祈りすることや、継続加入の条件を制限することがあります。

【傷害総合保険】

●事故が発生した場合は、ただちに損保ジャパンまたは取扱代理店までご連絡ください。事故の発生日からその日を含めて30日以内に ご通知 がない場合は、保険金の全額または一部をお支払いできないことがあります。

ご加入に際して、特にご注意いただきたいこと(注意喚起情報のご説明)(続き)

●被保険者が法律相談および弁護士委任をおこなわれる場合は、所定の事項について、事前に損保ジャパンに書面でご通知ください。事前に損保ジャパンの承認を得ることなく法律相談および弁護士委任をおこなった場合は、保険金の全額または一部をお支払いできないことがあります。

なお、被害事故に関するトラブルまたは人格権侵害に関するトラブルに該当する場合において、補償の対象となる原因事故によって被保険者が死亡されたときは、保険金を請求する権利を有するは法定相続人となります。

●被保険者が法律上の賠償責任を負担される事故が発生した場合は、必ず損保ジャパンにご相談のうえ、交渉をおすすめください。事前に損保ジャパンの承認を得ることなく賠償責任を認めたり、賠償金をお支払いになったりした場合は、保険金の全額または一部をお支払いできないことがあります。また、盗難による損害が発生した場合はただちに警察署へ届け出てください。

(注) 個人賠償責任補償特約をセレクトした場合、日本国内において発生した事故については、損保ジャパンが示談交渉を国内引き受けし事故の解決にあたる「示談交渉サービス」がご利用いただけます。示談交渉サービスのご提供にあたっては、被保険者および損害賠償請求権者の方の同意が必要となります。

なお、以下の場合は示談交渉サービスをご利用いただけませんのでご注意ください。

・被保険者の負担する法律上の損害賠償責任の額が保険金額を明らかに超える場合

・損害賠償に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合 など

●保険金のご請求にあたっては、以下に掲げる書類のうち、損保ジャパンが求めるものを提出してください。

必要となる書類	必要書類の例
① 保険金請求書および保険金請求権者が確認できる書類	保険金請求書、印鑑証明書、戸籍謄本、委任状、代理請求申請書、住民票 など
② 事故日時・事故原因および事故状況等が確認できる書類	傷害状況報告書、就業不能状況報告書、事故証明書、メーカーや修理業者等からの原因調査報告書、紛争状況申告書、原因事故の内容を確認できる客観的書類 など
③ 傷害または疾病の程度、保険の対象の価額、損害の額、損害の程度および損害の範囲、復旧の程度等が確認できる書類	①法律相談費用または弁護士委任費用を負担した場合 法律相談または弁護士委任それぞれの発生日時、所要時間および事案の内容を確認できる客観的書類、法律相談費用または弁護士委任費用それぞれの金額を確認できる客観的書類、弁護士委任契約書、裁判所の受領印が押印された調停等に関する申立書または折衷の写し、調停調書・和解調書・審判書・示談書または判決書 など ②被保険者の身体の傷害または疾病に関する事故、他人の身体の障害に関する賠償請求の場合 死亡診断書(写)、死体検案書(写)、診断書、診療報酬明細書、入院退院申告書、治療費領収書、診察券(写)、運転免許証(写)、レントゲン(写)、所得を証明する書類、休業損害証明書、源泉徴収票、災害補償規定、補償金受領書 など ③携行品等に関する事故、他人の財物の損壊に関する賠償請求の場合 修理見積書、写真、領収書、図面(写)、被害品明細書、質貸借契約書(写)、売上高等営業状況を示す帳簿(写) など
④ 保険の対象であることが確認できる書類	売買契約書(写)、保証書 など
⑤ 公の機関や関係先等への調査のために必要な書類	同意書 など
⑥ 被保険者が損害賠償責任を負担することが確認できる書類	示談書 ^(※) 、判決書(写)、調停調書(写)、和解調書(写)、相手の方からの領収書、承諾書 など
⑦ 損保ジャパンが支払うべき保険金の額を算出するための書類	他の保険契約等の保険金支払内容を記載した支払内訳書 など

(※) 保険金は、原則として被保険者から相手の方へ賠償金を支払った後にお支払いします。

(注1) 事故の内容またはケガの程度および損害の額等に応じ、上記以外の書類もしくは証拠の提出または調査等に協力いただくことがあります。

(注2) 被保険者に保険金を請求できない事情がある場合は、ご親族のうち損保ジャパン所定の条件を満たす方が、代理人として保険金を請求できることがあります。

●前記の書類をご提出いただく等、所定の手続きが完了した日からその日を含めて30日以内に、損保ジャパンが保険金をお支払いするために必要な事項の確認を終え、保険金をお支払いします。ただし、特別な照会または調査等が不可欠な場合は、損保ジャパンは確認が必要な事項およびその確認を終えるべき時期を通知し、お支払いまでの期間を延長することがあります。詳しい内容につきましては、損保ジャパンまでお問い合わせください。

●ケガをされた場合等は、この保険以外の保険でお支払いの対象となる可能性があります。また、ご家族の方が加入している保険がお支払対象となる場合もあります。損保ジャパン・他社を問わず、ご加入の保険証券等をご確認ください。

6. 保険金をお支払いできない主な場合

本プランの補償の内容【保険金をお支払いする主な場合とお支払いできない主な場合】をご確認ください。

7. 中途脱退と中途脱退時の返れい金等

【共通】

この保険から脱退(解約)される場合は、ご加入の窓口にご連絡ください。脱退(解約)に際しては、既経過期間(保険期間の初日からすでに過ぎた期間)に相当する割付保険料をご精算いただきます。なお、脱退(解約)に際して、返れい金のお支払いはありません。

【所得補償保険・団体長期障害所得補償保険】

●ご加入後、被保険者が死亡された場合、または保険金をお支払いする就業不能または就業障害の原因となった身体障害以外の原因によって、所得を得ることができないかな業務にも従事しなくなった、もしくは従事できなかった場合は、その事実が発生した時にその被保険者に係る部分についてご契約は効力を失います。

【傷害総合保険】

(注) ご加入後、被保険者が死亡された場合は、その事実が発生した時にその被保険者に係る部分についてご契約は効力を失います。
また、死亡保険金をお支払いするべきケガによって被保険者が死亡された場合において、一時払でご契約のときは、その保険金が支払われるべき被保険者の保険料を返還しません。また、分割払でご契約のときは、死亡保険金をお支払いする前に、その保険金がお支払われるべき被保険者の未払込分割保険料の全額を一時にお支払いいただきます。
詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

8. 保険会社被破綻時の取扱い

【新・団体医療保険、所得補償保険、団体長期障害所得補償保険】
引受保険会社が経営破綻した場合または引受保険会社の業務もしくは財産の状況に照らして事業の継続が困難となり、法令に定める手続きに基づきご契約条件の変更が行われた場合は、ご契約時に約束した保険金・解約返れい金等のお支払いが一定期間凍結されたり、全額が削減されることがあります。
この保険は損害保険契約者保護機構の補償対象となりますので、引受保険会社が経営破綻した場合は、保険金・解約返れい金等の9割^(※)までが補償されます。

【傷害総合保険】

引受保険会社が経営破綻した場合または引受保険会社の業務もしくは財産の状況に照らして事業の継続が困難となり、法令に定める手続きに基づきご契約条件の変更が行われた場合は、ご契約時に約束した保険金・解約返れい金等のお支払いが一定期間凍結されたり、全額が削減されることがあります。
この保険は損害保険契約者保護機構の補償対象となりますので、引受保険会社が経営破綻した場合は、以下のとおり補償されます。
(1) 保険期間が1年以内の場合は、保険金・解約返れい金等の8割まで(ただし、破綻時から3か月までに発生した事故による保険金は全額)が補償されます。
(2) 保険期間が1年を超える場合は、保険金・解約返れい金等の9割^(※)までが補償されます。

(注) 保険期間が5年を超え、主務大臣が定める率より高い予定利率が適用されているご契約については、追加で引き下げとなる場合があります。

9. 個人情報の取扱いについて

○保険契約者(団体)は、本契約に関する個人情報を、損保ジャパンに提供します。
○損保ジャパンは、本契約に関する個人情報、本契約の履行、損害賠償補償・利用・その他業務上必要とする範囲で、業務委託先、再保険会社、等(外国にある事業者を含みます)に提供等を行う場合があります。
また、契約の安定的な運用を図るために、加入者および被保険者の保険金請求情報等を契約者に対して提供することがあります。なお、保健医療等のセンシティブ情報(要配慮個人情報を含みます。)の利用目的は、法令等に

従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。個人情報の取扱いに関する詳細(国外在住者の個人情報を含みます。)については損保ジャパン公式ウェブサイト(https://www.sompo-japan.co.jp/)をご覧ください。取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせ願います。
申込人(加入者)および被保険者は、これらの個人情報の取扱いに同意のうえご加入ください。

ご加入内容確認事項

本確認事項は、万一の事故の際にお客さまに安心して保険をご利用いただくために、ご加入いただく保険商品がお客さまのご意向に沿っていること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入いただいていること等をお客さまご自身に確認していただくためのものです。
お手数ですが、以下の事項について、再度ご確認ください。
なお、ご確認にあたりご不明な点がございましたら、パンフレットに記載の問い合わせ先までご連絡ください。

1 保険商品の次の補償内容等が、お客さまのご意向に沿っているかをご確認ください。

- ☐ 補償の内容（保険金の種類）、セットされる特約 ☐ 保険料、保険料払込方法
☐ 保険金額 ☐ 満期返れい金・契約者配当金がないこと
☐ 保険期間

2 ご加入いただく内容に誤りがないかをご確認ください。

以下の項目は、保険料を正しく算出したり、保険金を適切にお支払いしたりする際に必要な項目です。
内容をよくご確認ください（告知事項について、正しく告知されているかをご確認ください。）。

【各種目共通】

- ☐ 被保険者の「生年月日」（または「満年齢」）、「性別」は正しいですか。
☐ パンフレットに記載の「他の保険契約等」について、正しく告知されているかをご確認いただきましたか。
☐ 以下の【補償重複についての注意事項】をご確認いただきましたか。

【補償重複についての注意事項】

補償内容が同様の契約が他にある場合は、補償が重複することがあります。補償が重複すると、対象となる事故については、どちらの契約からでも補償されますが、いずれか一方の契約からは保険金が支払われない場合があります。ご加入にあたっては、補償内容の差異や保険金額をご確認いただき、補償・特約の要否をご判断ください。

【所得補償保険にご加入になる方のみご確認ください】

- ☐ 職種級別はご加入いただく契約において保険料を正しく算出したり、保険金を適切にお支払いしたりする際に必要な項目です。被保険者ご本人の「職種級別」は正しいですか。
☐ 所得補償保険における基本補償の保険金額は、ご加入直前12か月における所得の平均月間額の範囲内となっている等、「この保険のあらまし」に記載された設定方法のとおり正しく設定されていますか。

【団体長期障害所得補償保険にご加入になる方のみご確認ください】

- ☐ 保険金額（支払基礎所得額）は、ご加入直前12か月における所得の平均月間額の範囲内となっている等、「この保険のあらまし」に記載された設定方法のとおり正しく設定されていますか。

【傷害総合保険にご加入になる方のみご確認ください】

- ☐ 職種級別はご加入いただく契約において保険料を正しく算出したり、保険金を適切にお支払いしたりする際に必要な項目です。被保険者ご本人の「職種級別」は正しいですか。

職種級別	職業・職種
A級	下記以外
B級	木・竹・草・つる製品製造業者、漁業業者、建設業者（高所作業の有無を問いません。）、採鉱・採石業者、自動車運転者（バス・タクシー運転者、貨物自動車運転者等を含むすべての自動車運転者）、農林業業者

（注1）オートテスター、オートバイ競争選手、自転車競争選手、自動車競争選手、猿取取扱者（動物園の飼育係を含みます。）、モーターボート競争選手の方等は上表の分類と保険料が異なります。
（注2）プロボクサー、プロレスラー、力士、ローラーゲーム選手（レフリーを含みます。）の方等についてはお引き受けできません。

3 お客さまにとって重要な事項（契約概要・注意喚起情報の記載事項）をご確認いただきましたか。

- ☐ 特に「注意喚起情報」には、「保険金をお支払いできない主な場合」等お客さまにとって不利益となる情報や、「告知義務・通知義務」が記載されていますので必ずご確認ください。

問い合わせ先（保険会社等の相談・苦情・連絡窓口）

- 幹事取扱代理店 **大阪中央合同会社** 担当：岡部・北川
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号 TEL 06-6949-4371 FAX 06-6949-4372
マイドームおおさか6階 （受付時間：平日の午前9時から午後5時まで）
- 引受保険会社 **損害保険ジャパン株式会社 大阪金融公務部第一課**
〒550-8577 大阪市西区江戸堀1-11-4 TEL 06-6449-1050 FAX 06-6449-1388
（受付時間：平日の午前9時から午後5時まで）
- 指定紛争解決機関 損害保険ジャパンは、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。損保ジャパンとの間で問題を解決できない場合は、一般社団法人日本損害保険協会に解決の申し立てを行うことができます。
一般社団法人日本損害保険協会 そんぽADRセンター（ナビダイヤル）0570-022808＜通話料有料＞
受付時間：平日の午前9時15分から午後5時まで（土・日・祝日・年末年始は休業）詳しくは、一般社団法人日本損害保険協会のホームページをご覧ください。
（<https://www.sonpo.or.jp/>）
- 事故が起こった場合は、ただちに損保ジャパン、取扱代理店または下記事故サポートセンターまでご連絡ください。
【事故サポートセンター】0120-727-110（受付時間：24時間365日）

- 取扱代理店は引受保険会社との委託契約に基づき、お客さまからの告知の受領、保険契約の締結・管理業務等の代理業務を行っております。したがって、取扱代理店とご締結いただいて有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものになります。
- このパンフレットは概要を説明したものです。詳細につきましては、ご契約者である団体の代表者の方に御渡ししております約款等に記載しています。必要に応じて、団体までご請求いただくか、損保ジャパン公式ウェブサイト（<https://www.sompo-japan.co.jp/>）でご参照ください（ご契約内容が異なっていたり、公式ウェブサイトに約款・ご契約のしおりを掲載していない商品もあります。）。ご不明点等がある場合には、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。
- 加入者証は大切に保管してください。また、3か月を経過しても加入者証が届かない場合は、損保ジャパンまでご照会ください。